

Part 1 基本情報

1.モロッコプロフィール

- (1)正式名称 (和文)モロッコ王国
(英文)Kingdom of Morocco
(仏語)Le Royaume du Maroc
- (2)政体 立憲君主制
- (3)首都 ラバト
- (4)面積 45万9000平方km(西サハラを除く)
- (5)人口 3,195万人(2010年 世銀統計)
- (6)民族 アラブ人、ベルベル人
- (7)言語 公用語:アラビア語、ベルベル語 官公庁・ビジネス言語:フランス語 その他:スペイン語(北部モロッコ)
- (8)宗教 イスラム教(98.7%)
- (9)略史 紀元前12世紀頃よりフェニキア、カルタゴ、ローマの侵入を受ける(先住民はベルベル人)。7世紀アラブ人の侵入。8世紀イスラム王朝成立。16世紀現王朝の基礎となるアラウィット王朝成立。1860年スペインが北部モロッコの貿易を支配、1912年フランスの保護領となる。1956年独立。1975年西サハラ非武装越境大行進、1991年西サハラ停戦、1997年二院制を導入、1999年7月モハメッド6世が即位
- (10)在留日本人 323人(2010年10月1日)
- (11)気候 南東部の砂漠地帯を除けば、気候はおおむね地中海性気候である。夏は暑いと比較的乾燥しており、冬は温暖で雨が降り、しのぎやすい。南下するに従い気候は大陸的になり、山岳地帯では冬の気温が摂氏0度以下に下がり、降雪もある。

[参考] CIA The World Fact Book

2.業務のための基礎データ

(1)JICA 事務所の概要

住所 :N° 9, Impasse Al Melia, Lotissement Falah, Lot 9, Agdal Riad Rabat

連絡先 :

国番号 :212

地域番号 :0537(モロッコでは必ず地域番号が必要)

電話 :0537-276595 /96 /97 /98 /99

FAX :0537-779592

E-mail :mo_oso_rep@jica.go.jp

執務時間 :8:30~12:00、13:00~16:30、 ラマダン中 :8:30~14:30(途中休憩なし)

休日 :土曜日、日曜日、および下記祝日(2011年)

1月3日	行政機関の休日(日本)
1月11日	独立要求記念日
2月11日	建国記念日(日本)
*2月16日~17日	モハメッド生誕日
3月21日	春分の日(日本)

4月29日	昭和の日(日本)
5月3日	憲法記念日(日本)
7月18日	海の日(日本)
*8月31日~9月1日	断食明け
*11月7日~8日	羊犠牲祭
11月18日	独立記念日
*11月24日	イスラム暦元旦
12月29日~30日	行政機関の休日(日本)
	計17日

●備考：

- (1)*印はイスラム暦による祝日のため、日にちは確定ではなく、数日間ずれる可能性がある。
- (2)ラマダン(断食月)の開始から断食明け祝日、夏期長期休暇(7月中旬~8月下旬)の期間は、調査団等の派遣を避けた方がよい。

(2)JICA 事務所周辺地図



事務所までの交通

【空港から】

日本からの来訪者が利用する主要な国際空港は2ヶ所あり、通常はJICA事務所に近いラバト・サレ空港を利用する。しかし、便数・路線数は、もうひとつのカサブランカ郊外のハブ空港であるカサブランカ・モハメド5世空港の方が多い。

ラバト・サレ空港からラバト市内に向かう公共交通手段はないので、送迎が必要である。事務所までは車で30分程度を要する。空港インフォメーションカウンターに問い合わせ、Grand Taxi(グラン・タクシー)を利用することもできる。グラン・タクシーは、1台当たり200DH(空港インフォメーションの規定料金)かかる。

カサブランカ空港は鉄道もアクセスしている。カサブランカ市内(Casa Port)まで45分、ラバトに直行する場合はCasa Port駅まで行かずにAin Sebaa駅で乗り換える。ラバト中央駅までは1時間半

- (7)通貨 通貨 :ディルハム(DH) (1ディルハム = 100 サンチーム)
- (8)通貨レート 為替レート :1DH = 9.3370 円
 1米ドル = 8.2070 ディルハム
 1ユーロ = 11.1590 ディルハム(2011年10月現在)
 最新の為替レートは、以下のサイトで確認のこと。
<http://www.oanda.com/convert/classic> (「OANDA.com」)
- (9)関係機関
- 【在外日本関係機関】
- ・日本大使館
 - 住所: 39, Ave. Ahmed Balafrej, Souissi, Rabat
 - 電話: 0537-631782/83/84 領事部: 0537-631785
 - FAX: 0537-750078
 - URL: <http://www.ma.emb-japan.go.jp>
 - 【モロッコの関係官公庁】
 - < 外務・協力省 (Ministère des Affaires Etrangères et de la Coopération) >
 - 所在地: 11, Avenue F. Roosevelt - Rabat, Maroc
 - 電話: 0537-761583, 762195, 761123
 - FAX : 0537-765508, 764679
 - URL: <http://www.maec.gov.ma>
 - < 内務省 (Ministère de l'Intérieur) >
 - 所在地: Avenue Mohammed V, Quartier des Ministères, Rabat
 - 電話: 0537-214000
 - FAX: 0537-762056
 - < 経済・財政省 (Ministère de l'Economie et des Finances) >
 - 所在地: Avenue Mohammed V, Quart. Adm. Chellah, Rabat
 - 電話: 0537-762171
 - FAX: 0537-761575
 - < 観光・手工芸・社会経済省 (Ministère du Tourisme, de l'Artisanat) >
 - 観光省所在地
 - 所在地: Charia Nakhil, Rabat
 - 電話: 0537-577800/0537577900
 - FAX: 0537-577901
 - www.tourisme.gov.ma
 - 手工芸省所在地
 - 所在地: quart. Administratif, Rabat
 - 電話: 0537-687300
 - < 農業・漁業省 (Ministère de l'Agriculture et des Pêches Maritimes) >
 - 農業省
 - 所在地: Quartier Adm. Pl. Abdellah, Chefchaoui, B.P.607 Rabat
 - 電話: 0537-760993, 762811, 765470, 760102, 761371/72/73
 - FAX: 0537-763378
 - www.madrpm.gov.ma

漁業省

所在地: Quartier Adm. Haut Agdal, Rabat

電話: 0537-688000

FAX: 0537-688134/35

< 設備・運輸省 (Ministère de l'Équipement et des Transports) >

設備省所在地: Avenue Mohammed V, Quartier Adm., Rabat

電話: 0537-684151/52/53

Fax: 0537-7684825, 764825, 684250

www.mtpnet.gov.ma

運輸省所在地: Bd. Ma-Al-Ainine

電話: 0537-773443

FAX: 0537-774466

< 国民教育・高等教育・幹部養成・科学研究教育省 (Ministère de l'Éducation Nationale, de l'Enseignement Supérieur, de la Formation des Cadres et de la Recherche Scientifique) >

国民教育省所在地: Bab Rouah, Rabat

電話: 0537-771822, 687263

FAX: 0537-201385

www.men.gov.ma

高等教育省所在地

所在地: Rue Idriss Al Akbar, B.P.4500, Hassan, Rabat

電話: 0537-217501

FAX: 0537-217547

www.enssup.gov.ma

研究教育省

所在地: 35, Av. Ibn Sina B.P.707 Agdal Rabat

電話: 0537 68.20.00

FAX: 0537 77.80.28

< 文化省 (Ministère de la Culture) >

所在地: Rue Ghandi, Rabat

電話: 0537-209494

FAX: 0537-209400

www.minculture.gov.ma

< 保健省 (Ministère de la Santé) >

所在地: Bd. Mohammed V, Rabat

電話: 0537-751282, 761403, 761121

FAX: 0537-763895

www.sante.gov.ma

(10) 有用サイト

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html> (外務省「各国・地域情勢」)<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/index.html> (外務省「渡航関連情報」)<http://www.maroc.gov.ma> (国の基本情報や政府の動向(仏語))<http://www.map.ma> (国営マグレブアラブ通信社。最新国内ニュース(英・仏・西語))<http://www.worldbank.org> (世界銀行。国別ページに経済データ、援助動向等記載(英・仏語))

Part 2 生活情報

「生活情報」は特に記載のない限り、JICA事務所のある都市の情報を中心に掲載しています。

1. ホテル、住宅



1-1 ホテル

モロッコは北アフリカ有数の観光国であることから、観光都市にはホテルが多数ある。宿泊料は日本と比べれば割安であるが、部屋の内容が料金に見合わないことも多い。一般には水周りの工事が弱いため、ランクの高いホテルに宿泊する場合でも、最初にトイレ、シャワー等を確認した方がよい。政府要人の訪問や公式行事があると、予約をしても一方的に取り消されることがある。電話予約の後にファクシミリを入れ、ホテルからもファクシミリで確認表を受け取るのが無難である。ほとんどのホテルは長期滞在に応じてくれるが、滞在期間の長短によって料金は変わらない。クレジットカードは、機械の故障で使えないことがあるほか、スキミング被害も報告されているため、現金払いが無難。

日本人がよく利用するラバト市内のホテルは次のとおりである。

(単位: ディルハム、以下DHと表す)

<ラバト市内のホテル>

・Hotel Diwan(ディワン)ソントル・ヴィル地区

住所: Place de l'Unité Africaine, Rabat

電話: 0537-262727

FAX: 0537-262424

Email: H2820@accor.com

URL: <http://www.sofitel.com/fr/home/index.shtml>

クレジットカード: VISA、MasterCard、American Express

インターネット: WiFi

・Hotel Oumlil(ウムリル)アグダル地区

住所: 31, Avenue Akba Agdal, Rabat

電話: 0537-683451

FAX: 0537-686557

クレジットカード: VISA、MasterCard

インターネット: WiFi、ケーブル

・Hotel KENZI BLERE(ベレール)ソントル・ヴィル地区

住所: 33, Avenue Moulay Youssef, Rabat

電話: 0537-703897

FAX: 0537-709801

クレジットカード: VISA、MasterCard

インターネット: WiFi

- ・Hotel OURIDA(ウリダ) アグダル地区
住所: 14, Rue El Achari Agdal, Rabat
電話: 0537-777740
FAX: 0537-779444
クレジットカード: VISA、MasterCard
インターネット: WiFi(有料)
- ・Hotel IBIS MOUSSAFIR(イビス・ムサフィール) アグダル地区
住所: 32/34 Rue Abderrahmane El Ghafoki, Agdal
電話: 0537-774926
FAX: 0537-774903
URL: <http://www.ibishotel.com/gb/home/index.shtml>
クレジットカード: VISA、MasterCard
インターネット: WiFi(レセプション近辺)
- ・Mercure Rabat Sheherazade(メルキュール・ラバト・シェヘラザード) ハッサン地区
住所: 21, Rue de Tunis, Hassan, Rabat
電話: 0537-722226/28
FAX: 0537-724527
URL: <http://www.mercure.com/gb/home/index.shtml>
クレジットカード: VISA、MasterCard
インターネット: WiFi(レセプション近辺)
- ・Le Pietri Urban Hotel(ピエトリ・ユーバン) ソントル・ヴィル地区
住所: 4, Rue Tobrouk, Rabat
電話: 0537-707820
FAX: 0537-708235
URL: <http://www.lepietri.com/>
クレジットカード: VISA、MasterCard
インターネット: WiFi、ケーブル
- ・La Tour Hassan(ツール・ハッサン) ソントル・ヴィル地区
住所: 26, Rue Cheffah Bp 14, Rabat
電話: 0537-239000
FAX: 0537-725408
URL: <http://www.palaces-traditions.com/>
クレジットカード: VISA, Master Card, American Express, Dinerss
インターネット: WiFi

1-2 住宅事情

ラバトの居住地区は、住居のタイプによって大まかに 2 分される傾向にある。

日本人は、アパート(Appartement)であれば繁華街に近いアグダル(JICA 事務所から車で 10 分程度)に、一戸建て(Villa)であればハイリアド(同 5 分)、スイシーに多く住んでいる。

アグダルは繁華街であるため、便利である一方、マナーの悪い若者が集まる傾向にあり、騒音や渋滞が問題になることもある。ハイリアドはこれまで一戸建てが中心の高級住宅地であったが、近年は大規模アパートやオフィスビルが増え、それに合わせて商業施設も増えている。スイシーには大使館が多く存在し、家賃は高めだが広めの物件が多い。

ラバトでは近年、不動産価格高騰の傾向にある。一戸建ての家賃は 1 万～2 万 DH、アパートの家賃は 2～4LDK の間取りで 8 千～1.5 万 DH が相場。海外の住居には家具付きも多いが、モロッコでは家具付きアパートはあるものの、家具付きの一戸建てを探すのは難しい。

管理費(アパートの場合)や光熱費を考慮すると、家賃の他にも月々 1 千～4 千 DH 程必要となる。また、一戸建ての場合、警備員(Gardien)の備上を推奨する。

赴任当初に入居できる、1泊400～600 DHの家具、台所付きのアパートもあるが、数は多くない。

1-3 住宅の探し方

一般的には不動産業者に依頼し、下見時に、治安、買い物、通勤、交通の利便性を考慮して決める。住宅街を車で回り、近くの警備員などに尋ねると、空いている家やアパートを教えてくれることがある。その足で下見をし、家主を紹介してもらうことも可能である。2大日刊紙「Le Matin」、「L'Opinion」の住宅案内欄も活用できる。なお、最も物件が空くのは、外国人の勤務交代時期にあたる6月末～8月末頃である。

< アパート・一軒家を紹介してくれる不動産会社 >

・IMMO CLAIR SERVICE

住所: 40, Rue abou Derr, Agdal

担当者: Mr.ahmed EL KHRIBI (英語が話せる)

電話: 0537-670955

FAX: 0537-674086

・CABINET AKKOR

住所: 37, Rue Jabal Tazaka, n°4(angle av.de France), Agdal

担当者: Mr.Abdelhanine AKKOR

電話: 0537-771090

FAX: 0537-776982

1-4 住宅選定上の留意点

日本人は家賃をしっかりと払い、家もきれいに扱うので、日本人の入居を希望する家主は多い。物件は豊富にあるので、無理に古い家に入る必要はなく、あせらずに何軒か見て決めるとよい。

一般に治安はよいが、防犯設備とし窓の鉄柵、入口扉には少なくとも2つの鍵があることが望まれる。入居に先立ち安全対策クランクに希望物件を確認してもらい、必要な安全対策を指示してもらおう。これら安全対策は、入居前に家主に改善を要求するとよい。なお、鍵は入居後に全部取り替えるのが望ましい。

自家用車を所有する場合、ガレージは必須である。アパートの場合は、建物の地下にガレージがあることが多いが、出入り口の坂が急過ぎる、中の設計が狭すぎて擦りやすいといった難点があるため、車を入れやすい構造であるかどうかも確認した方がよい。

古い家のほとんどは、冷暖房が付いていない。しかし、モロッコの住宅は夏を涼しく過ごすことに重点を置いているため、冷房を必要としないことも多い。一方で、冬は室内が非常に冷え込むので、暖房機器は必須である。一戸建ての場合は、暖炉が付いている家もある。

給排水、給電とも問題は少ないが、入居時に水回りには十分注意する必要がある。モロッコでは、水回りのトラブルが多いため、大家に信用のおける配管工(Plombier)を教えてもらうと便利である。

ガスは、都市ガスはなくプロパンガスを使う。風呂は電気湯沸かし器が一般的であるが、ガス瞬間湯沸かし器が設置されていることもある。過去にガス漏れによる死亡事故もあり、安全対策上、モロッコ事務所では電気湯沸かし器に限定している。ガス瞬間湯沸かし器が設置されている場合は、家主に交換を要求するとよい。湯沸かし器のタンク容量は多くの種類があるが、日本人は入浴などに多くの湯を使うため、大き目のタンクを選ぶのが無難である。

アパートには管理人がいるが、一戸建ての場合は警備員を雇うのが望ましい。住み込みの24時間体制にする場合は、警備員用居室がある家を探すことが最低条件となる。できれば、居住者と警備員の出入り口が別に備えてある造りだとなおよい。また、住み込みの使用人を雇う場合は、使用人用のトイレと浴室がある家がよい。アパートの場合、屋上や共同スペースが洗濯干場の場合、洗濯物を盗まれることがあるので、干場専用スペースがあると便利である。

入居前に家を点検し、不備がある場合は家主に修理を依頼すること。また、入居前に清掃・殺虫を業者に依頼できる。入居前に発生する整備費は、原則家主負担となるが、未対応のままに入居して不備が発生した場合、費用が家主負担になるとは限らない。事前に家主と十分話し合い、修繕同意書を取り付けることが望ましい。

1-5 住宅の契約

契約書の内容は、家主の氏名、住所、借り手の氏名、住所、契約期間、支払い方法、月額家賃、特記事項等である。通常、家賃にはガレージ使用料、共益費などが含まれる。含まれていない場合は、特記事項に記入される。契約期間は通常2年で、その後、双方のいずれからも1カ月または2カ月前に書留による契約解消の予告がない場合は、自動的に更新される。法律上、家賃は3年間据え置きだが、その後10%を上限に値上げできることとなっている。契約時には、通常下記のものが必要となる。

- ・ 1カ月分の家賃(支払い先:家主)
- ・ 家賃1カ月相当分の保証金(支払い先:家主)。保証金は、退去時の修繕費に当てられる他、残った額は最終月の家賃と相殺される。
- ・ 家賃1カ月相当分の仲介料プラス税金20%(支払い先:不動産業者)
- ・ 契約書3通。通常は家主又は不動産業者が準備する。内容を確認してから双方がサインし、それぞれ1通ずつ保管し、残りの1通は区役所に提出する。

設備の修繕の必要がある場合は契約前に要求し、家主負担による修繕同意書をとっておくこと。電気、給排水は、入居前に家主同伴でチェックする。入居してから水・電気系統のトラブルが発生することがあるので、家主とあらかじめ修理についてよく話し合っておくこと。必要なら、特記事項欄に書き込む。

住宅を明け渡すときには、原則として元の状態に戻しておくことが契約書に明記されている。補修が必要な場合は個人的に行わず、文書で家主の承諾を得るのが適切。家具付き物件の場合は、入居前に家主と家具のリストを作成し、家具の状態を確認して双方が署名する。

1-6 ガス、水道などの手続きと管理

光熱費等は、入居者自身が契約する。ラバトの場合、水道・電気はRedal(電気水道会社)が料金徴収をしている。一方電話は、主要な会社が3社ほど存在し、最大手はMaroc Telecomである。

Redalに手続きをすれば、1～2日で水道・電気のメーターを付けてくれる。入居時点で既にメーターが付いており、使用できる状態になっている場合は、入居前に契約者を確認すること。契約者が前の入居者であれば、家主とともにRedalへ行き、契約をやり直す必要がある。家主名義になっている場合は、トラブルが起きないように支払い条件を契約書に記載する。

Redalは毎月1回、水道代と電気代を合わせた請求書を郵送してくるので、指定された期限前にRedalに支払いに行く。支払っても、後日督促が来るトラブルも多いので、領収書は保管すること。

電話は、居住地区担当営業所で手続きを行えば、2～3日で電話がつながる。電話代は月1回、請求書が送られてくる。支払期限前までに電話料金を担当営

業所で支払う。Redalと同じく、支払いに関するトラブルが多いので、領収書は保管すること。後任者に同じ電話番号を引き継ぐ場合、過去の領収書も引き継ぐとよい。請求書が来ないからといって放置しておく、突然停められるので注意。

ガスは、雑貨店(épicerie)か配達業者からプロパンガスを買う。最初はボンベの貸し出し代も必要であるが、次回からは中身のガス代のみとなる。電話をして頼むと、運んでくれるので、設置してもらったら代金とチップを支払う。

1-7 家電

(1) 電圧

電圧は220V、周波数は50ヘルツである。

(2) コンセント、モジュージャックの形

プラグの種類・形状は、ヨーロッパと同じ(C型プラグ)である。日本から持ち込んだ電気製品を使用する場合は、連結用プラグでつなく。連結用プラグは現地でも簡単に入手できる。電圧が違う場合は、変圧器をつける必要がる。容量の大きい変圧器は現地では入手困難。

(3) 家電製品

< 現地で調達できるもの >

一般家電はほとんど手に入る。外国製品のほか、日本製品も多く出回っており、日本から持ってくる必要はあまりない。しいて無い物を挙げれば、炊飯器である。パソコン・プリンターも多数販売されているが、日本語対応ソフト、日本語キーボードは入手困難なので、日本国内で購入するのが無難。

1-8 家具保険

該当情報なし。

1-9 その他

住宅の設計が甘く、窓から雨が吹き込んだり、戸の下から水が入ってきたりすることがある。電線を伝って、雨水が室内に流れ込むという被害もあった。家やベランダ付きのアパートを借りる際は、モロッコの住宅に知見のある先人と意見交換し、慎重に下見をする必要がある。

2. 衣料など

2-1 衣料全般

(1) 一般事情

首都ラバトは、年間を通じて比較的温暖である。夏はかなり暑く、綿や麻の製品が涼しく過ごしやすい。一方で雨季となる11～3月は日照が少なくなって冷え込む。モロッコの住宅は保温効果が極めて低く、特に室内の冷え込みは非常に厳しい。一般家屋では暖房の備えが不十分なので、セーター、カーディガンなど、



基本的には日本の冬と同じものを準備したほうがよい。モモヒキ、防寒タイツ、レッグウォーマーなども、特に中高年には必要である。「アフリカだから」という思い込みは、準備不足を招きがちなので要注意。

衣料は、モロッコ製品の他に、主にフランス、スペイン、中国からの輸入品がある。上質のものは少ないが、「ZARA」、「Benetton」、「Etam」といった欧米系の量販グループも進出しており、一通りのものは揃う。「シェヴィニオン」「ペペ・ジーンズ」、「Zazoo」は、ライセンス生産のものを販売していて、デザインはヨーロッパと同じである。価格は全般に安い。特にカサブランカの商店街ではモードを反映した商品も見つけることができる。ただし、素材が肌に合わないことも多いため、四季に合わせた一そろいは日本から持参することを勧める。

(2) 日本から持参したほうがよい衣料

< 紳士用 >

スーツ、ワイシャツ、ブレザー、セーター、コート、ネクタイ(日本人向けのデザインは少ない)など。中高年は防寒着(特に足元)。

< 婦人用 >

春秋用合服、ブレザー、マキシドレス、レセプション用ワンピース、ワンピース、ブラウス、スカート、スラックス、セーター、カーディガン、コート、パンティストッキング、下着類(高級下着も入手可能だが高価である)など。中高年は防寒着(特に足元)。

< 子供用・乳幼児用 >

一般的な子供衣料は入手可能。外出用、あるいは高級品は滞在期間中の成長に合わせて、各種サイズを取り揃えておいてもよいが、使用する機会は限定的。

(3) 現地で調達したほうがよい衣料

乳幼児・子供の普段着は、現地で調達できる製品で十分間に合う。紙おむつもスーパーマーケットでパンパースなどが入手できる。寝具類もモロッコ製で十分間に合う。マットレス、枕、毛布、敷布、掛布団、タオル(日本と大きさが違う)などはMetro、Marjane、家具店、タオル専門店で入手できる。

モロッコ製の靴はかかたが減りやすいが、何足かを交互に履くなどすれば問題ない。ハンドバッグも、高級品を除けば各種揃えることが可能である。

下着、寝間着なども入手できる。テーブルクロス、ナプキンなどはモロッコ刺繍の施されたものが各種ある。中国製品も多い。

2-2 礼装

(1) パーティー

男性はスーツにネクタイ、女性はワンピースまたはスーツが一般的。外交関係のパーティーに招かれる機会もあることから、女性は礼装を持っていると便利。

(2) 式典

例年、天皇誕生日記念パーティーが大使公邸で催される。男性は平服(背広)でよい。女性は着物姿も見かけるが、ワンピースなどの平服で問題ない。例年、大使公邸で祝賀会が催される天皇誕生日は12月のため、防寒対策も考えておいた方がよい。

モロッコの祝祭日の式典には、パーティー用の服装でよい。外国人がモロッコ式の正装を要求されることはない。

配属機関の行事では男女ともにスーツが無難だが、女性の場合はワンピース、あるいはブラウスとスカートでもよい。

(3) 冠婚葬祭

葬儀の際は、なるべく地味な服装をすること。しかし黒服は避けたほうがよい。モロッコ人は男女とも白のジュラバ(民族衣装)が正装である。モロッコ女性は髪をスカーフで隠す。

(4) その他の留意点

着物を着ると珍しがられて喜ばれるが、着付けは自分で手配する必要がある。

良質の礼服は入手が困難なので、男性はスーツ、女性はワンピースを持参するとよい。

2-3 洗濯、仕立て、修繕、保管

(1) 洗濯

洗濯を使用人に頼む場合には、洗剤、糊、漂白剤の使用法(分量、注意点)や電気洗濯機の使い方を懇切丁寧に伝え、間違いなく使えると確認してから任せるとよい。

衣類は、強い太陽光線、水質、洗剤の質の関係で傷みが早い。高価な衣類は自分で洗濯するなどの配慮が必要。洗濯機用ネット袋は入手が困難なので、十分な量を持参したほうがよい。

アイロン、アイロン台、電気洗濯機などは現地調達できるので、持参する必要はない。

ドライクリーニング店は多数あり、丁寧な仕上げの店もある。ラバトでは下記の店がある。

・Macro Sec

住所: 5, Av. de France, Agdal, Rabat

電話: 0537-771177

備考: チェーン店で、上記の所在地の他にもスーパー等によく見られる。

・Busy Bee Pressing

住所: 14, Rue Michelifen, Agdal, Rabat

電話: 037-672520

(2) 仕立て、修繕

決して技術は高くないが、安価でそれなりに仕上げてくれる。気に入った生地を買い、仕立屋に持ち込むのが一般的。仕立てる前に、デザインや寸法を細かく打ち合わせるが、既製品を持ち込み、それを見本にしてもよい。

修繕は安価にできる。すそ上げは15～20DH程度でできる。かけはぎができる店もある。

(3) 保管

防虫剤は外国製(スペイン、フランス)及び国産品がスーパーで入手可能。防湿剤はあまり見かけない。ラバトは比較的湿気が多いので、全ての材質の衣料を時々陰干しするのがよい。毛皮・革製品の保管を依頼できるところはない。革製品の修理を頼むことはできる(Le Maroquin、Marjane Souissiの中)

2-4 美容院、理髪店

都市には美容院が多数ある。しかし、男性の多くは住居周辺のモロッコ人が使う安い店で済ますことが多く、女性の場合は一時帰国するまで切らないことも多い。外国人が主に利用しているラバトの美容院は次のとおり。

・Jacques Desssange

住所: 1, Ahmed Balafrej, Souissi, Rabat

電話: 0537-657646

備考: 日本にも支店があるフランス系のチェーン美容室。カットは、男性150DH、女性300DH。

・Institut Jade

住所: Sofitel, Souissi, Rabat

電話: 0537-671234 Fax: 0537-671492

備考: 外交官夫人、現地ハイソサイエティーが利用。技術水準は普通だが、料金割高。

・Institut Yasmine

住所: 3, Av. Michlifen, Agdal, Rabat

電話: 0537-671835

備考: フランス系経営、料金割高。和服に合わせた髪型もつくれる。

・Beauty Club

住所: 38, rue Aguelmane Sidi Ali, Agdal

電話: 0537-779434

備考: 割安。技術は低い。

・Creations Santissi

住所: 4, Av. Al Atlas, Agdal, Rabat

電話: 0537-674222

・Salon Isis

住所: Residence Kays, 30, Sahat Rabia Al Adaouia, Agdal, Rabat

電話: 0537-778225

Jacques Desssange, Institut Jade, Institut Yasminelは、他所より値段が高く、カット(シャンプー、ブロー含む)が250～320DH、パーマ(シャンプー、ブロー含む)が300～500DHである。

一般的な店では、カットが70～100DH程度、パーマが100～150DH、ブローが50～80DHである。

理髪店は、新市街の高級店からメディナの店まで多数ある。だいたいの値段はカット、ブローが30～60DH、ひげ剃りが10DHである。

ヘアキッドその他、ヨーロッパ製が広く出回っている。

3. チップ



3-1 チップ事情

(1) 習慣の有無

モロッコにはチップの習慣がある。ホテル、レストラン、カフェや人に何かを頼んだりする場合にはチップが必要と考えてよい。

(2) 各種サービスに対するチップ

ボーイに買い物をお願いした場合などは、1回あたり2～10DH。ホテル等ではホテル到着時に荷物を部屋までボーイが運んだ場合は5～10DH。カフェでは小銭、レストランでは、支払額の約10%程度が一般的。

4. 食生活



4-1 外食

(1) 一般事情

ラバトでは、レストランは中心街であるソントル・ヴィル地区、繁華街であるアグダル地区、新興住宅地のハイリアド地区、主要幹線であるRoute des Zaërs沿いに多い。レストランの種類は、モロッコ料理をはじめとするマグレブ料理、フランス料理、イタリア料理、地中海料理などのヨーロッパの料理、和食、中華と、多岐にわたる。また、アメリカ系のファスト・フード店が進出している他、カフェも多い。料金は、ファスト・フードでは安いところもあるが、レストランは日本とあまり変わらない。また、アルコールが提供されない飲食店が多いので、目的に応じて事前に調べておくと良い。

(2) 飲食店

日本人がよく利用するレストランは次のとおりである。

フランス料理店、イタリア料理店、ホテル内のレストランは、大人数、または人を招待する時には予約を入れた方が無難である。少人数での食事であれば、予約はほとんど必要ない。チップは店のランクに合わせて、総額の5～10%未満程度

の見当で出せばよい(お釣りの小銭程度を残すだけの人もいる)。なお、最近ではサービス料が予め課せられているケースもあるので、その場合にはチップは不要。

< 日本料理 >

・Matsuri(まつり)スイシー地区

住所: 155, Av. J. Kennedy, Route des Zaeès, Souissi, Rabat

電話: 0537-757572

備考: フランスのチェーン店で、日本人がアドバイザーになっている。回転寿司であるが、人気がある。大人数のときは要予約。月曜週休。バーがあり、アルコールも飲める。

・Marsa

住所: Nouvelle Marina de Bouregreg,

電話: 0537-882155

備考: Bouregreg川河口のマリーナにある高級日本料理店。アルコールあり。

・Kiotori(きおとり)

Route des Zaërs 添いにあるメガモール内、

ハイリアドのマハジリアド内

電話: 0537-636497

備考: 寿司、焼き鳥、刺身などが食べられるが、アルコールは無い。経営者は日本人ではない。

・YOKA Sushi

住所: 1, Avenue Al Abtal, Agdal, Rabat

電話: 0537-686859

住所: Avenue Al Maouz, Rabat

電話: 0537-717177

備考: 寿司、焼き鳥などが食べられる。アルコールはない。デリバリ可能。

< モロッコ料理 >

高級ホテル内、メディナ(モロッコ人居住の旧市街)内にある観光客用のレストラン、ソントル・ヴィル地区の中級レストランなどがある。

・Restaurant Dinarjat(レストラン・ディナルジャット)メディナ内

住所: 6, rue Belgnaoui, Rabat

電話: 0537-704239

備考: 要予約。アルコール無し。案内人がメディナの入口に立っている。料金は高め。

・Restaurant Tajine Wa Tanjina(レストラン・タジン・ワ・タンジーナ)ソントル・ヴィル地区

住所: 9, Rue Baghdad, Rabat,(ラバト中央駅のそば)

電話: 0537-729797 Fax: 0537-201535

備考: 大人数は要予約。タジンやクスクスは70DH程度で、アルコール有り。

・Restaurant Petit Beur Dar Tajine (レストラン・ダール・タジン) ソントル・ヴィル地区

住所: 8, rue Damas, Centre Ville, Rabat

電話: 0537-731322

備考: 夜は生演奏がある。タジンやクスクスは70DH程度で、アルコール有り。

< 中華 >

ほとんどの店が中国風の店構えであるが、料理はベトナム料理と混同されている。

・Restaurant AS`IAM (レストラン・アシラム) ハイリアド地区

住所: 32, Av. Al Arrar, Hay Riad, Rabat

電話: 0537-565630

備考: マレー系中華料理。中国人が店内で麺を打っておりパフォーマンスも面白い。アルコール有り。

・La Pagode (ラ・パゴダ) ラバト・ヴィル駅付近

住所: 13, rue Baghdad, Rabat

電話: 0537-709381

備考: 大人数は要予約

・Pousse Pousse (プスプス) アグダル地区

住所: 41, av. Al Atlas, Rabat

電話: 0537-683435

備考: アジア料理のファスト・フード店。宅配、テイクアウトもできる。

・Restaurant Site Tiananmen (天安門) オセアン地区

住所: 12, Rue Bruxelles, Rabat (Rue en face de l'ancienne eglise espagnole)

電話: 0537-205040 0661403054

備考: 中国人経営の中華料理店で客層も中国人が多く安価。アルコールは扱っていないが、貸し切り時は交渉によりアルコールの持込が可能。

・Restaurant Le Mandarin (越南酒家) オセアン地区

住所: 100, Av. Abdelkrim al Khattabi, l'Ocean, Rabat

電話: 0537-724699

備考: ベトナム系中華料理。アルコール有り。

< フランス料理 >

・Villa Mandarine (ヴィラ・マンダリン) スイシー地区。

住所: 19, Rue Ouled Boussbah, Souissi, Rabat

電話: 0537-752077

Fax: 0537-632309

備考: 要予約、Villa Mandarin Boutique Hôtel内の本格的なフランス料理。ア

ルコール有り。

・Restaurant Paul(レストラン・ポール)アグダル地区

住所: 82, avenue des Nations-Unies, Agdal, Rabat

電話: 0537-672000

備考: フランスのチェーン店。1階がカフェ、2階がレストランになっている。モロッコの祝日でも空いていることが多い。大人数は要予約。アルコール有り。

・Restaurant Picolo's(レストラン・ピコロ)スイシー地区

住所: 149, Av. JF Kennedy, Avaition, Rabat

電話: 0537-636969 Fax: 0537-638686

備考: 大人数は要予約、アルコール有り。

・Restaurant La Veranda (レストラン・ラ・ベランダ)ソントル・ヴィル地区

住所: 11 rue Ghafsa, Hassan, Rabat

電話: 0674841244 Fax: 0537-700090

備考: フランス文化会館(Institut Francais)の中にあるレストラン。大人数は要予約、アルコール有り。

・Restaurant Episerie Ty Potes (レストラン・エピスリー・ティポト)ソントル・ヴィル地区

住所: Institut Francais, rue Ghafsa, Rabat

電話: 0537-707965

備考: サラダ、クレープなど軽食中心のお店。豚肉が食べられる数少ない店。アルコール有り。

・Restaurant L'Entrecôte (レストラン・ロントルコト)アグダル地区

住所: 74, Charia al Amir Fal Ould Oumeir, Agdal Rabat

電話: 0537-671108, 0661155959

備考: 老舗のフレンチ。肉料理を店名にしているが、魚料理もおいしい。アルコール有り。

・Restaurant Royal Nautique Club Bouregreg(レストラン・ロイヤル・ナティック・クラブ・ブーレグレグ)サレ地区

住所: B.P.3214 - 11000 Salé Bettana, Salé

電話: 0537-784545 Fax: 0537-844409

備考: サレのヨットクラブの中にある高級フレンチ。ヨットクラブの中であり、看板が外に出ていないので注意。アルコール有り。

<イタリア料理>

・La Mamma(ラ・マンマ)ソントル・ヴィル地区

住所: 6, Zankat Tanta, Rabat

電話: 0537-707329

備考: 大人数は要予約。地元の人々にも人気のレストラン。アルコール有り。

・Restaurant Bartoldi(レストラン・バルトルディ)アグダル地区

住所:83, ave. Oqba, Agdal, Rabat

電話:0537-777759 Fax:0537-779089

備考:カジュアルなイタリア料理。アルコール可。

・Restaurant Finzi(レストラン・フィンジ)スイシー地区

住所:Angle Av. Mohammed VI, Rue Ahmed Rifai, Complexe Pristige Souissi

電話:0537-758161

備考:内装がきれいで味もいい。サービス料8%が自動的に課せられる。アルコール有り。

・Club Restaurant Le Weimar(クラブ・レストラン・ル・ワイマール)ソントル・ヴィル地区

住所:Goeth Institut 7, rue Sna'a Rabat

電話:0537-737136、0663428101(携帯)

備考:ドイツ大使館文化会館(通称ゲーテ会館)の中にあるが、イタリア料理が中心。人気があり、予約が必要だが、金曜夜は予約できない。アルコール有り。

< スペイン料理 >

・Tapeo

住所:Hay Riad, Rabat

電話:0537-565777

・Restaurant Casa d'Espagnol(レストラン・カサ・デスパニョール)スイシー地区

住所:6, rue Zehhoun Bir Kacem, Rabat

電話:0537-758858

備考:パエリアなどが食べられるレストランでスペイン文化会館付属の社交施設だが、外部も利用可能。アルコール有り。

< その他 >

・Bombay オランジュ地区

住所:Rue El Hatmi, Rabat

電話:0618-182008

備考:インド料理。

・EL RANCHO(エル・ランチョ)アグダル地区

住所:30, Avenue Michelifen, Agdal, Rabat

電話:0537-673300

備考:要予約。メキシコ料理。

・SWING(スウィング)スイシー地区

住所:

電話:0537-652000

備考：シーフード主体のイタリア風料理。アルコール有り。

<ファスト・フード>

マクドナルド、ピッツァハット等多数。

4-2 食料

(1) 一般事情

モロッコは広大な土地に恵まれており、食料生産のポテンシャルは十分であるが、灌漑整備が進んでいないため、天候の影響を受けやすい。ただし、政府による食糧管理、緊急輸入制度が発達しており、食糧不足に陥る心配はない。

主要農産物は、小麦、柑橘類、オリーブ、甜菜、トウモロコシ、トマト、そのほか各種野菜、豆類などである。野菜と果物は概して新鮮で味もよく安値であるが、泥などがついていることもあるのでよく洗う必要がある。

米、コーヒー、お茶（紅茶と中国茶）、砂糖なども豊富に出回っている。

肉類や魚類も容易に入手できる。また、乳製品もモロッコ製、フランス製とも入手できる。

食品加工業はかなり発展しているが、輸入加工品も豊富に出回っている。ラバトでは食用油（オリーブ油、ヒマワリ油、アルガン油など）、乳製品、魚類の缶詰、ハム・ソーセージ類、果物の缶詰、ジュース、ジャム類、めん類（パスタ、春雨、ビーフン、即席ラーメン）、チョコレートやビスケット類などが豊富である。酒類は、ビール、ワインが国内生産されており、安く入手できる。輸入のアルコールも豊富に出回っており、タイミングが良ければ日本酒（月桂冠）も入手できる。

概ねスーパーマーケットでは、生鮮食料品はショーケースに入れてパックで販売している。

(2) 主な食品の出回り状況

<米>

米は、どの地区にもある「エピスリ」と呼ばれる乾物店やスーパーマーケットで売られており、日本人の口にも合う日本米に近いMIURA（牛の絵に赤フレームの10Kg入りの袋）または、CIGALA（赤い海老の写真の袋）など日本米の味に近い短粒米が購入できる。

<その他穀物・豆類>

小麦粉はパン用とお菓子用があり、袋詰め、量り売りで売られている。主食である小麦粉の値段は、国の価格統制が敷かれているので、常に安価に買える。モロッコ人が好んで食べる「クスクス」は、蒸したクスクス（粒上にしたセモリナ粉）に、煮込んだ野菜と肉または魚を汁とともにかけた料理で、日本人の口にも合う。クスクスも量り売りで袋詰が豊富に出回っており、エピスリでも入手できる。穀物、豆類としては、大豆、白インゲン、小豆、ポップコーン用干しトウモロコシなどがあるが、日本産とは種類が若干異なり、色、艶、風味が異なる。デザート（ナツメヤシ）、クルミ、ピーナツ、アーモンド、干しブドウなど、木の実類は美味である。

麺類については、多種多様なパスタが入手可能である他、中華麺、ベトナム

の米類がスーパーで入手可能。

<パン>

バゲット・ノーマル(フランスパン)、ホブスという名の丸いモロッコパンが一般的で、これらは価格統制により安く買える(どの店でも約1~2DH)が、同じバゲットでも、オリーブ等が添加されている種類は高くなる。パンはエピスリヤパン専門店を買え、焼きたてのパンは温かくおいしい。また、モロッコ人は日常的に自宅でパンを焼いているので料理上手な家政婦を雇っている場合は、頼めばオーブンで焼いてくれる。

<肉>

一般的な肉として、牛、羊、鶏、七面鳥の4種類が売られており、その他には山羊、鴨、ダチョウ、豚、うずら、兎、馬、ラクダも売られている。肉の自給率は100%に近く、マルシェ(市場)や肉店で豊富に出回っている。ハムなどの食品加工も盛んである。牛肉の値段は日本の3分の1くらい(1kgで約100DH)であるが、日本のような霜降りの肉は存在しない。鶏肉は、生きたものをその場で締めて売る店もあるが、多くは日本同様パックで売っている。鶏挽肉はあまり出回らず、七面鳥挽肉を代用することになる。ラバトでは、豚の生肉は、アグダル地区のMarché Mnuicipalにある肉店で入手できる。Marjaneのハイリアド店、Label vieのスイシー店では、豚肉のハム、ベーコン、ソーセージ、缶詰が売られている。

豚肉を入手できる肉店: Au Porcelet Gourmand

住所: 13, Place Raber El Adaouia Agdal

電話: 0537-681353

<乳製品>

牛乳、ヨーグルト、チーズ、バターは現地で豊富に生産されており、エピスリヤスーパーマーケットで入手できる。フランス産の輸入チーズも種類が豊富にある。外国産、国産とも、日付けを確認した方が無難である。

<魚介類>

モロッコの水揚げは豊かで、メカジキ、アンコウ、ヒラメ、カレイ、タラ、タイ、アジ、イワシ、スズキ、タコ、イカ、カニなどが入手できるが、肉に比べると高い。ノルウェー産の生鮭もスーパーなどで簡単に入手できる。貝類は、カキ、ムール、アサリなどが季節により市場に出る。Marché Central(中央市場)やスーパーマーケットで購入するかぎり、中毒の心配は少ない。品質管理が来ている市場は、Marché CentralとMarché Populaire(旧Marché Mellah)である。アグダル地区にも新鮮な魚を売るフランス人の店があるが、高値である。タカドゥン地区、ラバトの隣のテマラ市では、市場と同じ鮮度の製品が安く手に入るが、種類は少なくなる。ラバト近郊の漁港(車で北に1時間行ったメディア漁港、南に30分行ったスキラット市等)に行けば、新鮮で安く、少量の為市場には出回らない種類も手に入る。マグロ、カツオも水揚げされるが、滅多に入手できない。

< 野菜 >

ニンジン、ジャガイモ、かぶ、玉ネギ、ポアロー(フランスの長ネギ)、キャベツ、カボチャ(水っぼい)、トマト、ピーマン、オクラ、キュウリ、セロリ、レタス、ブロッコリー、グリーンピース、ソラマメ、ナス、西洋ミツバ、各種ハーブ香草など豊富に出回っているが、ゴボウ、大根、白菜、青菜類は入手困難である。なお、生姜のような外見の芋は、ゴボウの風味に似ているので代用できる。

白菜や大根、青梗菜などの中国野菜が、時々カサブランカのMarché Centralに出ることがある。ラバトでは、中国人が週に1回、手作り栽培しているニラやニガウリ、豆腐などを予約に応じて届けてくれる。モロッコで入手できない野菜は、日本から種を持参して家庭菜園する人もいる。

< 果物 >

モロッコの果物は種類が多く、価格も安い。品質の良いものは欧州向けに輸出されてしまうが、国内でも良質のものが手に入る。メロン、スイカ、柑橘類、桃、イチジク、リンゴ、梨、西洋梨、ブドウ、ビワ、柿、アンズ、サクランボ、スモモ、イチゴなどが国内で栽培されている。バナナは国内産の小さいもの、外国産の大きいものがある。マンゴー、キウイ、ライチなどの南洋果物は、海外から輸入されている。

< 調味料 >

ヨーロッパのスパイス類や調味料が多くある他、モロッコ特有のスパイス類も多い。カレー粉はあるが、日本製のカレー・ルーの方が美味である。乾燥ショウガと粉ショウガはエビスリ、マルシェの香料専門店、スーパーなどで売っている。生ショウガはスーパーマーケットで見つかる。日本のミソはないが、中国製の赤ミソがメトロ(サレの大型スーパー)で入手できる。醤油は、スーパーでキッコーマンの小瓶が入手できるが、やや高価である。メトロでは、5リットル入りの業務用キッコーマンを割安で販売しているので、日本人間で分けても良い。中国醤油、ゴマ油、魚醤(タイ製ナンプラー)といったアジア食材は、スーパーやマルシェで一般的に売っている。和食に必要なみりん、かつおだし、コンブ、ワカメは売られていない。海苔、ワサビは中国製や韓国製のものが入手できる。カラシは洋ガラシ(マスタード)が入手可能である。酢は、米酢以外の各種が入手できる。

< 食用油 >

オリーブ油、ヒマワリ油、大豆油、ゴマ油がある。また、高価であるが、アルガン油はモロッコの特産品である。

< 酒類 >

ワイン、ビールは現地生産されており、スーパーマーケットで簡単に安く入手できる。ウイスキー、シャンパンなどはすべて輸入されている。ラバトのLabel Vieでは、日本酒(月桂冠)が売られていることもある。酒類の販売は一般に10時~18、19時までだが、金曜日は昼の礼拝時間の間(11時~15、16時)は販売しないスーパーが多い。多くのスーパーマーケットが、ラマダン等のイスラム教の行

事の際は、酒類を販売しない。

アグダルには、フランス人の経営する酒屋が2件有り、輸入ワインを豊富に扱っている。こちらはイスラム教の行事にはあまり左右されないが、日曜日は閉店する。

< 飲料水(ミネラル・ウォーター) >

モロッコ産のミネラルウォーターは、「シディ・アリ」や「シディ・ハラズム」(1.5リットルで5~6DH)など多数の商品があり、スーパーマーケットやエピスリで入手できる。フランスの「エピアン」やモロッコ産の炭酸水もスーパーマーケットに出回っている。

< 日本製食品、調味料 >

ラバトで入手可能なものは、醤油、日本酒のみ。

(3) 食料の入手

ラバト市内には大きなスーパーマーケットが5~6軒ある。Marché(市場)も数カ所あり、食料品を購入するのは容易である。

ラバトの主なスーパーマーケットは次のとおりである。

・Marjane(マルジャン) Bouregreg Rabat

住所: Rue Azilal, Centre Commercial Bouregreg

電話: 0537-708700

営業時間: 9時~22時、定休日なし。

備考: 輸入食料品の値段は高いが、品物は豊富。各種アルコールを販売。

Place des Nations Uniesからサレ市に向かう坂道を下りた突きあたり。周辺は治安が悪いので車またはタクシーでないと行けない。野外駐車場で盗難が頻発しているため、車に荷物を置いておかないこと。

・Marjane(マルジャン) Hay Riad

住所: Avenue Anakhil, Rabat

電話: 0537-717745

営業時間: 9時~22時、定休日なし。

備考: マクドナルドやKFCなど、フードコートも充実している。

・Metro(メトロ)

住所: Route de Meknes, Salé

電話: 0537-819700、定休日なし。

営業時間: 7時~22時30分

備考: ヨーロッパのメトロのチェーン店。卸売の大手スーパーで、一括購入に適している。食料、アルコールのほか、食器、寝具類、衣類、電気製品、スポーツ用品、車用品、庭仕事用具、生活必需品など。アジア食材も販売している。ラバト・サレ空港に行く道路沿い。中国製の食料品が多数あり、前述のキッコーマン醤油、中国製赤味噌、ゴマ油など一通り入手できる。

・Super Marché Souissi(スーパー・マルシェ・スイシ)

住所: Avenue Imam Malik, km 2500

電話: 0537-753813

営業時間: 8時 ~ 20時30分

備考: 高級住宅街に向かうRoute des Zaërs沿いにある、中型のスーパー。アルコール、中国食品が入手できる。

・Label Vie(ラベル・ヴィー) Souissi

住所: Route des Zaërs, Souissi

電話: 0537-631414/037-636370

営業時間: 平日 9時 ~ 91時、土日 9時 ~ 22時

アルコール売り場 は10時 ~ 19時(金曜日11時 ~ 16時まで閉場)
定休日なし。

備考: ショッピングセンターに改築した建物の地下にある中型のスーパー。中国食品が少し置いてある(春巻きの皮、春雨等)他、マレーシア製の即席ラーメン、アルコール、肉類、ハム・ソーセージなどがある。同チェーン店はラバト市内に4軒ある。

・Label Vie(ラベル・ヴィー) Agdal

所在地: 1, Cite Ibn Sina, Agdal

電話: 0537-775400

営業時間: 8時 ~ 21時、定休日なし。

備考: 日本人が多いAgdal地区のスーパー。大きくはないが、品揃えはよい。アルコールあり。配達なし。

・Aswak Assalam(アスワク・アッサラム)

所在地: Boulevard Mehdi Ben Barka, ex. Beni Znassen, Hay Riad

電話: 0537-712629/30

営業時間: 7時 ~ 22時、定休日なし。

備考: 品揃えは豊富だが、アルコールは販売していない。生鮮品は新鮮で清潔。2階にカフェ、レストラン、ゲームセンターがある。

・市場はMarché CentralとMarché Municipalが大きい。日本食品専門店はない。カサブランカの中国食品店、地中海沿岸のスペイン領セウタで、日本製即席ラーメンなどが入手できる。

4-3 食器、調理器具

(1) 食器、調理器具などの入手

日本特有の食器、調理器具はない。ヨーロッパ製、中国製、モロッコ製のものあらゆる種類がある。ただし、モロッコ製なのに中国製の伊万里焼のような柄の大皿、小皿などが一般的に売られているので便利である。

電気製品は、ほとんどのもの(冷蔵庫、大型冷凍庫、食器洗い機、トースター、

ミキサー等)があるが、炊飯器は無い。モロッコの電圧は220Vなので、現地で手に入るものは現地で購入したほうが良い。調理器具(包丁、まな板、鍋、フライパン、圧力鍋等)、西洋食器類(皿、コップ、フォーク、スプーン等)は、すべて現地のスーパーや専門店で揃う。ただし、刃物の品質はあまりよくない。また、モロッコ特有のクスクス鍋は、蒸し器として使用できるので便利である。

(2) 日本から持参したほうがよい食器、調理器具など

炊飯器は入手が難しいので、必要であれば持参したほうが良い。電圧は220～240Vである。鮮魚が手に入るので、出刃包丁、砥石、うろこ取り、骨抜きがあれば、自分で刺し身が作れる。

和食器を持参するのであれば、急須、湯飲み茶碗、おちょこ、とっくり、箸、すし桶、すし用巻きす、椀、皿等を持参すると便利。なお、柄や材質にこだわらなければ、和食器と同じような大きさの皿は手に入る。

西洋食器類は、品数は少ないが一揃いある。ただし、来客用のセットは非常に高価で品質はさほど良くないので、必要に応じて持参したほうが良い。特に紅茶セットは見つけにくい。

陶器製の流しも多く、ステンレス製の流しに比べて食器が欠けやすいので、高価な食器の使用は注意を要する。ボウルはほとんどがプラスチック製で、ステンレス製、ガラス製は少ない。

コーヒーカップの上に乗せるタイプのプラスチック陶器製のコーヒードリッパーは入手困難なので必要なら持参したほうが良い。

5. 生活用品の購入



5-1 家電製品

上記スーパーを参照。

5-2 家具

家具専門店が多く、安価なものから輸入物の高級品まで購入可能である。カサブランカへ行けば、さらに品数は多い。

・Kitea

Marjane(マルジャン) Hay-Riad 内

住所: Avenue Anakhil, Rabat

電話: 0537-717704

備考: 手ごろな値段の家具が揃う。北欧家具のIKEAと同じような品揃えと思えばよいが、規模ははるかに小さい。

5-3 日用品、雑貨

日用品、雑貨は外国製、モロッコ製共に豊富で、ほとんどの物が入手可能である。専門店、スーパーマーケット、ショッピングセンター、キオスク、エピスリ等で

見つかる。入浴の際のナイロンタオルは質のよいものは入手困難なので必要なら持参したほうが良い。

上記スーパーマーケットを参照

5-4 工具、素材

モロッコ製、外国製の工具共に豊富で、ラバトでは大きなスーパーマーケットで扱っている他、専門店も多数ある。ソントル・ヴィル地区内に特に多い。鍵、カーテンレール等の専門店も、この近辺に多い。電気製品を購入する場合は、あらかじめアフターサービスがあるか確認する。家まで修理のために技術者を派遣してくれるところもある。

・BRICOMA

住所: Av. Hassan , LOT 6 Z D'activite Vita Ryad, Rabat

電話: 0537-239900

備考: 工具一式がそろった大きな専門スーパーマーケット。

・AMAIZ ET CIE

住所: 156, Avenue Hassan II, Rabat

電話: 0537-720495

備考: 工具以外にも、雑貨屋と呼んだほうが良い程、雑多なものを販売している。その場でハンダ付け、簡単な電気製品の修理等してくれる。その他種々の修理を請負う。家まで来て修理をしてもらう場合には、技術者・修理人を派遣してくれる。

6 . 金融機関



6-1 金融機関

(1) 銀行

国立銀行(Bank Al-Maghrib) 1行、主要な都市銀行は12行。日本人になじみのあるCITIBANK系のCITIBANK MAGHREBは、銀行の方針で個人口座が開けない。モロッコ系銀行も近頃では、外国からの入金、外国への送金共に早くなり、モロッコ全土に支店網を張り巡らせているので、地方送金が可能である。また、銀行キャッシュカードも発行してくれるので、各地の支店等の自動現金支払機で現金引き出しが可能である。日本人がよく利用する銀行は、S.G.M.B、Attijariwafabank、B.M.C.E.、B.M.C.I.等。

主な銀行は次のとおりである。

・Attijariwafabank

住所: 155, Bd. John Kennedy, Rabat

電話: 0537-756116 ~ 8

FAX: 0537-756119

備考: BMCとWafaBankが合併し、モロッコ最大の銀行となった。

・BMCE (Banque Marocaine de Commerce Exterieur)

住所: 2, Av. Imam Malik, Rabat

電話: 0537-752575

・BMCI (Banque Marocaine de Commerce et Industrie)

住所: Angle Av. Iman Malik et Ibrahim Tadili, Rabat

電話: 0537-654213/44/38

備考: BNP (パリ国立銀行) グループの銀行。

・SGMB (Société Générale Marocaine de Banques)

住所: Av. Iman Malek km3,5 Route des Zaërs, Souissi, Rabat

電話: 0537-633250/631484/751084

備考: フランスのSociété Généraleグループの銀行。

上記のほか、Banque Populaire、Credit Du Marocなど数行あり、カサブランカとラバトに多くの支店を持つ。地方の各都市にも必ずいくつかの銀行の支店がある。

(2) 口座の開設と閉鎖

口座を開設する際は、外貨変換可能DH口座 (Compte étranger en DH convertible、通称兌換口座) にするとよい。モロッコの兌換口座は、外国からの外貨送金を受けると自動的にモロッコ通貨に換金され、外貨をそのまま預けることは出来ない。しかし、外国送金ができ、外貨に兌換可能であるメリットがある (通常の口座は外貨に戻すことはできない)。ただし、普通口座から兌換口座へ現地通貨を入金することはできない (兌換口座から兌換口座への現地通貨送金は可能)。兌換口座を利用する場合は、口座残高がマイナスになることは認められないので、単身赴任等で海外送金が多い方は、残金に注意が必要である。

口座開設には、パスポートのコピー、ディポジット (銀行によって金額は違う) 開設申込用紙兼契約書、サイン見本が必要となる。閉鎖する際は、残金を全額引き出し、閉鎖通知の手紙を提出する。

現地銀行の口座を手当受け取り口座に指定することも可能であるが、現地通貨の為替変動を受けるので、送金金額が大きい場合には、アメリカや欧州の銀行口座を手当受け取り口座とし、現地銀行口座に外貨送金を要求することも可能。なお、三菱東京UFJ銀行新宿中央支店では、業務提携をしているUNION BANKでの口座開設を斡旋してくれる。モロッコからUNION BANKへはFAXで外貨送金を要求でき、1週間程度で入金される。

(3) 小切手

銀行口座開設の時に小切手帳作成を依頼。小切手が残り少なくなるころ、小切手帳の中に新しい小切手帳作成依頼の用紙が挟み込まれているので、記入署名して銀行窓口へ提出すると、2週間ぐらいでできる。新しい小切手は発送されないで、窓口まで取りに行く必要がある。

小切手での支払いは広く行われており、家賃や大きな買い物の支払いなどに

は便利であるが、利用金額をアラビア数字とフランス語で書く必要がある。例えば、DH200,15の支払いは、「PAYER CONTRE CE CHEQUE」の欄に空白をあけずにDeux cents dirhams quinze centimes.と書かなくてはならない。

(4) 換金方法

キャッシュカードでの引き落としが一般的であるが、小切手を切って銀行窓口で現金化してもらうことも可能である。

また、クレジットカード(VISA、MasterCardが一般的)によるキャッシングや、日本国内の口座から引き落としが可能な国際キャッシュカード(CITIBANKや三井住友銀行で取り扱っている)で、現地銀行の自動現金支払機から引き落とすことも可能であるが、お金が出てこない、カードが機械に飲み込まれるといったトラブルがあるので、週末の利用は避けるのが無難である。

現金の両替は、市内の銀行窓口で可能である。米ドル、ユーロが一般的だが、国際空港、大型ホテル、大手銀行では、日本円の両替も受け付けてくれる。旅行小切手(トラベラーズチェック)の両替は、購入時控えの提示を求められることが多いので、大切に保管しておく必要がある。

6-2 クレジットカード

VISA、MasterCardが一般的である。外国人向けホテル、大型スーパー、高級レストランでの支払い、現地銀行の自動現金支払機からの引き出しが可能である。

他のカード(American Express、JCB、Diners Clubなど)は、外国人向けホテルを除きほとんど普及していない。

現地銀行でもクレジットカードは作成できるが、手続きが煩雑なので、日本国内で作ったほうが無難である。

7. 交通事情



7-1 交通手段

(1) 一般事情

大都市間では、交通機関がかなり整備されており、タクシー、鉄道、長距離バス、国内航空を利用できる。中小都市や地方の村落へは、自家用車を除けば、移動手段はタクシーか長距離バスしかない。

<タクシー・バス・トラムウェイ>

各都市には長距離バスのターミナルがある。ターミナルは順次近代的に作り替えられており、周辺にはタクシーや市内バスが乗り入れ、連絡よく目的地につくように整備されつつある。比較的新しくエアコン完備のバスを使用している長距離バス会



社CTMは、モロッコ広域を網羅しており、料金は比較的高めだが安全で快適といえる。CTMのバスの時刻・料金表はウェブサイト:www.ctm.maで確認できる。

タクシーには、都市間を結ぶグラン・タクシー(大型タクシー:乗合、値段の交渉を乗る前に行う)と、市内を走るプチ・タクシー(小型タクシー、メーターを戻したか確認すること。特に観光地では注意)の2種類がある。プチ・タクシーの乗車定員は運転手を含め4人であり、たとえば、ラバトのプチ・タクシーは、隣町のサレに行くことはできないなど、それぞれ定められた地域以外を走行することはできない。

ラバト市内には、公営バス1社と民間会社数社のバスがある。路線網は整備されつつあるが、時間は不正確である。バス停は整備され、バスには路線番号が表示されるようになったが、行き先は示されていないため、慣れるまでは使用を控える方が無難。また、バスの中でスリや置き引き被害に遭遇することが多く、注意が必要。

また、2011年5月にトラムウェイ(路面電車)がラバト市で運行開始した。LINE1(Station Madinat Al Iriane ターミナルからサレの Station Hay Karima ターミナル)及びLINE2(Station Hopital Moulay Youssef ターミナルからサレの Station Hassan ターミナル)の2路線で、料金は一律6dh 固定。JICA 事務所へのアクセスはLINE1の(station MohammedV Gare de Rabat 駅)から終点の Madinat Al Iriane 駅を降車後、徒歩25分程度。

< 道路 >

道路は、高速道路(Auto Route)、主要道路(国道)、2級道路(地方道路)、3級道路(県道、山道を含む)の4種類があり、舗装状況は概ね良好である。

高速道路(有料)も年々整備が拡大されており、ラバト~カサブランカ~マラケシュ、マラケシュ~アガディール、ラバト~ケニトラ~ララッシュ~タンジェ、ラバト~メクネス~フェズ~ウジュダ、カサブランカ~エル・ジャジータなどで既に建設されている。高速道路は基本的に4車線で、制限速度は時速100km~120kmである。路面状況は良好だが、制限速度以上のスピードで飛ばす車がいたり、ときどき歩行者が横断したりすることがあるので注意が必要である。

一般道路では、所々に穴があったり、カーブの勾配が逆だったりといった箇所もあるが、道路状況は悪くはない。雨が降ると出水したり滑りやすかったりするので、特に冬季の旅行の際には天気予報に注意する必要がある。

近年の交通事故発生数の増加傾向を受けて、モロッコ政府は、事故数減少のために、シートベルト着用の義務化や運転中の携帯電話の通話禁止、また違反者には罰金100DHを課す法律を制定した。各地では、レーダーを使ったスピード違反の取り締まりも強化されている。しかしながら、依然として交通マナーは悪く乗降車時、運転時には十分気をつける必要がある。

< 鉄道 >

鉄道はラバトを基点に、北部はタンジェ(278km)、北東部はウジダ(609km)、南西部はカサブランカ経由エルジャディータ(190km)、南部へはマラケシュ(321km)まで、1日3~5本の割合で運行されている。また、ラバト~カサブランカ

間は、6時30分から17時まで30分毎に1日計25本の往復急行が走っており、両都市を約1時間で結んでいる。ケニトラ(ラバト北部)～ラバト～カサブランカ間の路線もある。カサブランカ～カサブランカ空港間は、1日に片道18本の割合で走っている。時間はおおむね正確で、車内も整備されている。時刻表と料金は駅またはウェブサイトwww.oncf.maで確認できる。車両には1等と2等がある。1等は基本的に座席指定であるが、必ずしも切符に書かれた座席があるとは限らないため注意が必要。

< 空港 >

(1)モロッコ国内の主な空港は、アガディール、アルホセマ、マラケシュ、ウジダ、ラバト・サレ、タンジェ、テトアン、フェズ・サイス、ワルザザット、カサブランカ・モハメッド5世、エッサウイラ、(ライユーン、タンタン:西サハラ内)で、中心となるのはカサブランカ・モハメッド5世空港である。

(2) 空港から市内への移動

ラバト・サレ空港からラバト市内に向かう公共交通手段はないので、出迎えが必要である。なお、市内まで車で30分程度である。待機しているグラン・タクシーを使うと、ラバト市内まで200DH(空港インフォメーションの規定料金)かかる。

空港インフォメーションカウンターに問い合わせGrand Taxi(グラン・タクシー)を利用する。

カサブランカ空港からカサブランカ市内(Casa Portまで45分)、ラバトに直行する場合はCasa Port駅まで行かずにAin Sebaa駅で乗り換える。ラバト中央駅までは1時間半程度かかる。大きな荷物を抱えての移動には出迎えを手配するほうが無難である。リムジンバスがカサブランカの市内へ定期的に出ているが、ラバトへのリムジンバスはない。車では、空港からカサブランカ市内まで40分、ラバト市内までは約1時間30分程度である。

< 自家用車 >

車両は右側通行である。交差点はロータリー(円形交差点)が多い。標識は日本と同様に常識的に判断できるが、地方ではアラビア語による標示しかないところもあるので注意が必要である。

高速道路使用料は日本に比べると安く、例えばラバト～カサブランカは20DH、ラバト～フェズ間は55DHである。料金は、日本と同じように料金徴収所(Peage)で支払う。なお、高速道路の支払い専用のプリペイドカードが大きな料金所に付属する道路公団事務所で販売されている。購入するためには100DHのディポジットが必要であるが、このカードで支払う場合の高速道路料金は10%引きとなるため、長期滞在者は入手を検討してもよいであろう。カードは500DH、1000DH、1500DH、2000DH、3000DHの5種。2度目からはカードをチャージするだけなのでディポジットを支払う必要はない。

街中で駐車する場合は、駐車料1回2DHをガルディアン(駐車監視人)、もしくはパーキングメーター(時間制)に支払う。監視人はユニフォームを着て鑑札をつ

けている。空港や海岸などの駐車場では最低5DH徴収される。

年々、車の保有者は増えており、学校のそばは朝昼、夕方に渋滞する。

スピードの出し過ぎや、大型トラックの居眠り運転による夜間の事故が各地で多発している。事故の主な要因や、特に留意すべき点は次のとおりである。

- ・ 他車のウインカーを信用しすぎないこと。ウインカーが右に出ている、左に曲がることもある。また、発進、停止の合図をまったく出さない車もある。
- ・ 夜間、ライトを暗くしている車(特にタクシーとトラック)があるので注意。
- ・ バスとタクシー、高級車(ベンツなど)は強引な運転であることが多く、無理な追い越しや横入りをすることがある。
- ・ 高速道路で荷崩れを起こして、横転するトラックが多い。
- ・ センターラインを飛び出してきた車との正面衝突で、大事故が発生する。モロッコでは、対向車が右によけることを期待して無理な追い越しをかけてくるので、自分が追い越しをしなくとも、常に対向車に注意する必要がある。
- ・ モロッコでは原付バイクは自転車と同様に運転免許が不要であることから、交通ルールを解さない人々が多く運転している。バイクは自転車感覚で反対車線を走るので注意が必要。
- ・ ラマダン月(断食月)は事故が多いので注意が必要。
- ・ 整備不良車が多く、運転する際/同乗する際には注意が必要。
- ・ 秋～春にかけて、アトラス山脈の高地ではしばしば降雪があるが、現地ではチェーンの入手が困難であるなど、一般的に雪への備えが不十分なため、事故が多発する。基本的に冬場のアトラス越えは避ける。

(4) レンタカーなどを利用する場合

レンタカーは、空港で直接借りるか電話で予約して指定の場所まで運転してもらおうことが一般的。事故や故障の際、トラブルになることがあるので、多少高くてもできるだけ大手のレンタカー会社を利用し、保険内容などを必ず確認する必要がある。なおガソリンは通常借り手の負担である。料金はレンタカー会社と借りる期間により差が生じる。平均的な料金は次のとおり。

料金:「プジョー307(5人乗りセダン)」600DH/日、「トヨタ四駆」1250DH/日、「ルノー・クリオ(小型車)」500 DH/日。各料金に税金20%が加算される。運転手費用は、ラバト市内150/日DH、ラバト市外250DH/日。

(5) 地図

ラバト市内の書店でモロッコ製地図を入手できる。フランス製ミシュランの地図が車を運転するには最適。手軽に入手できる地図の種類が少ないので、ヨーロッパなどでミシュランの地図を購入したほうがよい。

7-2 交通事故、盗難

(1) 対処方法

- ・ 事故に遭った場合は、関係機関に直ちに連絡をすること。むやみに各種証

明書類にはサインをしないこと。

- ・ 人身事故の場合は、警察(電話:19)と救急車(電話:150)を呼ぶ。

(2) 救急病院

下記の医療機関に、24時間救急受け入れ制度がある。なお、シェイク・ザイード総合病院は医療水準も高い。またクリニック・スイシーも同様。

- ・Hopital Cheikh Zaid(オピタル・シェイク・ザイード)

住所: Hay Riad, Rabat

電話: 0537-686868

- ・Clinique Souissi(クリニック・スイシー)

住所: Rue Cadi Abdellah Kabbaj, Souissi, Rabat

電話: 0537-653040

- ・Clinique des Nations Unies(クリニック・デ・ナションジュニ)

住所: Angle avenue des Nations Unies et rue Ibn Hanbel, Agdal, Rabat

電話: 0537-670505

- ・Hopital Avicennes

住所: Haut Agdal, Quartier Souissi, Rabat

電話: 0537-672871

(3) 車両の盗難、車上荒らし

盗難対策として、短時間でもガードマンのいる駐車場に入れることが重要である。防犯アラームを取り付けると効果的である。ラバトおよびカサブランカの住宅街で、自宅前に駐車しておいた四駆車を盗まれた例がある。日本車はねらわれやすいので要注意。

駐車時では荷物を車内に残さず、後部トランクに移すこと。車の登録済み証(Carte grise)、運転免許証などの関連書類はコピーをとり車とは別に保管しておくほうが好ましい。

盗難被害にあった時は関係機関に一報を入れるとともに、最寄りの警察署に出向き盗難届を出し、盗難証明書を出してもらう。証明書が発行されるまでに最低1日はかかるので、その間に保険会社に電話で盗難申告をする(保険会社への届け出は5日以内にすることになっている)。警察の盗難証明書が出たら、保険会社に渡すこと。また、すべての書類のコピーを取っておくことを勧める。

7-3 交通違反

(1) 交通法規

車は右側通行である。追い越しは左車線からである。

交通法規はフランスとほぼ同じで、日本の常識が通じない場面も多いので、初めて自分で運転する際には経験者に同乗してもらうほうが無難である。

一時停止や速度制限標識の後ろに警官が2人ずつ立っており、停車を求められることがあるので十分注意すること。制限速度は、高速道路100km～120km、

国道100kmまたは80km、市内60kmまたは40km。

(2) 罰金、罰則

交通違反の疑いをかけられたときは、違反をしていなければ落ち着いた態度で身分証明書を提示し、状況を説明すること。

罰金は(軽度なもので100～400DH)違反の現場で支払うかもしくは、控えと交換に運転免許証を没収され、指定された日に当該警察署に出頭し、罰金を支払い、免許証を返してもらうこととなる。現場で支払う場合、罰金は現金のみ受け付けられるが、警察に出頭すると待たされる可能性もあるので極力現場での支払を薦める。

都心での駐車違反車両には、Sabotと呼ばれる車輪止めをはめられる。Sabotをはめられていた場合は、車のフロントガラスに残されている駐車違反のチケットに記載されている連絡先に電話をし、現場に来てもらう。この場合、その場で40DHの罰金を支払い、はずしてもらう。半日ほど待たされることもある。青線で囲まれている路上有料駐車場では、最寄りの駐車券販売機でチケットを駐車予定時間分購入し、車内フロントガラス下において外出する。駐車時間が切れや、チケットなしの駐車も、同じく車輪止めをはめられる。尚、レッカー車で車両を運ばれた場合は、警察指定の車置き場まで出向いて、罰金、車の保管料、手数料などを支払って引き取る。

7-4 車の修理

(1) 部品

多くの自動車メーカーは販売店を有しており、トヨタ、ホンダ、日産、スズキの部品は、カサブランカとラバトで入手できる。また、欧州車を中心とした日本車以外の部品も市内で容易に入手できる。

(2) 修理工場

基本的に、各自動車メーカーの販売店で修理を行うことをお勧めする。市内の各所に修理工場があるが、技術レベルは高くない。修理工場は板金、メカ、電気系統、タイヤ関係と修理をする内容により分かれていることが多いので面倒である。部品交換、オイル交換、パンク修理などは問題ないが、作業が終わるまでそばで見ているなければ、部品を盗まれることがある。

8. 通信



8-1 電話

(1) 一般事情

固定電話の新規取付け手続きはMaroc Telecom(モロッコ・テレコム)で行う。取付けまで早くて1～3日、通常は約1週間以上を要する。料金は、1カ月に1度、から請求書が郵送されてくるので、営業所に出向いて支払う(現金あるいは小切手)。請求書がこないからと言って支払わずにいると、突然止められるので注意。

また、モロッコ全土に携帯電話網が普及しており、関係者のほとんどが利用している。

(2) 国内電話

自宅の電話を使う場合、市内通話は1分間で1DHである。市外通話は距離別時間差方式で、日本と同様の料金体系である。街中には公衆電話や電話を貸し出す業者(テレブティック)があり、テレブティックではFaxを送ることもできる。

各サービスの電話番号は次のとおりである。

電話局(交換台): 100

番号案内(国内): 160

番号案内(国外): 120

局を通しての国際電話: 120

コレクトコール(PCV): 100(国内)、120(国外)

料金そのほか問い合わせ: 0800-00800

(3) 国際電話

各都市から、ダイヤル直通で国際電話がかけられる。公衆電話やテレブティックでも可能である。日本へは0081、次いで0をとった市外局番、市内局番の順でかける。

(4) 携帯電話

GSM方式で、外資系のMaroc Telecom、Meditel、モロッコ企業のInwiの3社が扱っている。プリペイドカード方式の場合は、身分証明書またはパスポートがあれば、あらかじめ用意する書類なくすぐに購入、使用できる。

Maroc Telecom(モロッコテレコム)

機材・テレホンカード込み一括支払い方式: 690DHくらいから3000DH~各種
(最低1年契約)

機材のみ: 690DHくらい~

テレホンカードのみ: 50DH(最初の契約手数料と20DHの通話料込み)

備考: 機種多数で、プリペイドカードの1通話あたりの料金は割高であるが、月々の固定料金が必要ない。プリペイドカードは10DHから1200DHまで5種類あり、キオスクやエビスリでも入手できる。チャージしたポイントは6ヶ月間使用でき、再チャージすると残存ポイントと新しいポイントが、最チャージ時点から6ヶ月間有効となる。なお、ポイントが切れても、1年間は受信できる。年に数回、チャージポイントが2~3倍になるキャンペーンを実施している。

ウェブサイト: www.iam.maで製品・料金等のインフォメーションが見られる。

・Meditel(メディテル)

機材のみ: 690DHくらい~

テレホンカードのみ: 100DH(最初の契約手数料と50DHの通話料込み)

機材・テレホンカード込み一括支払い方式: 395~7595DH、888DH(1年契

約)そのほか各種

備考:機種多数で、プリペイドカードの1通話あたりの料金は割高であるが、月々の固定料金が必要ない。年に数回、チャージポイントが2~3倍になるキャンペーンを実施しており、テレビ・新聞等で確認宣伝している。

ウェブサイト:www.meditel.maで製品・料金等の情報が見られる。

・Inwi(イヌイ)

機材・テレホンカード込み一括支払い方式:190~3,490DH(1年契約)そのほか各種

備考:機種は他の2社に比べて若干少ない。まだアンテナの設置が進んでおらず、地方では電波が入りにくい。プリペイドカードの1通話あたりの料金は、割高であるが月々の固定料金が必要ない。プリペイドカードは、10DHから200DHまで5種類ある。

ウェブサイト:www.inwi.maで製品・料金等の情報が見られる。

8-2 電信

(1)ファクシミリ

料金は電話と同じである。本体と紙は現地調達できる。外国からのFAX機の持ち込みは、原則としてできない。一般のコピー用紙を使う機種と感熱紙を使う機種があり、価格は感熱紙用が1,000DH以上、コピー用紙用が1,500DH以上である。ホテルの予約や機材の見積依頼等は、ファクシミリを使うと便利である。

(2)電報

郵便局へ出向き、所定の用紙に記入してTELEGRAMME(電報受付窓口)に申し込む。また、電話で申し込むこともできる(電話:140または0537-724916)。この場合、料金は電話料金に加算される。

(3)インターネット

地方都市でもADSL接続可能な地域が増え、インターネットが急速に普及している。下記の会社に電話で申し込み、約一週間で接続してくれる。料金は接続の速度とプロバイダーによって異なる。モロッコの代表的なプロバイダーは下記の2社である。僻地によっては、ADSL使用不可の地域があるので、この場合はダイヤルアップ接続を契約する。接続コネクタの形状は、プロバイダーがモデムを提供しており、それを利用者のパソコンにUSBにて接続する方式が主流である。

・Menara/Maroc Telecom(メナラ/モロッコテレコム)

最寄り営業所に申し込む。ADSLによる接続は、1Mb/sで月額99DHから20Mb/sで799DHまで5段階の速度が設定されている。加入料(モデムを含む)は500DH程度。

USBに接続使用する3Gインターネットは、USBモデムを購入(199DH、390DH)し、プリペイドカード(10DH/日、50DH/週、200DH/月)で利用できる。

・Inwi(イヌイ)

USBに接続して使用する3Gインターネットを展開している。無料の通信モデム(1Mbps)を用いて200DH/月の使い放題型(加入料無料、但し、最低加入期間24ヶ月)と、200DHの通信モデム(1Mb/s)を購入し、200DH/30日、40DH/5日、10DH/日のプリペイドカードを購入し接続する方法がある。

ウェブサイト : www.inwi.maで製品・料金情報が見られ、Marjane等にある代理店で申し込む。

8-3 郵便

(1) 一般事情

郵便局で取り扱う郵便事業には、普通郵便、速達郵便(Poste Rapide)、書留(Recommandation)がある。国内と国外に手紙、印刷物や小包を送ることができる。モロッコへの配達を、個人の住所宛にすると途中で紛失することもある。また、免税手続きが煩雑になるので、職場気付とするのが無難である。小包、書留は郵便局から通知があり、通知用紙と身分証明書を持参し、各地の中央郵便局のColis Postaux(小包ポスト)へ出向いて受け取る。

・Barid Al Magrib(ラバト中央郵便局)

住所: Av. Mohammed V

記念切手は郵便局の窓口では購入できない。グランドモスクとラバト駅の間にある切手博物館(Av. Mohammed V)で、原価で販売されている。

(2) 課税

書籍以外はほとんどが課税される(日本からの小包に貼付された、価格を記入した送付状をもとに課税される)。食品は100%課税されることもあるので、送付状の価格記入には注意を要する。原則として、薬品の輸入にはモロッコ保健省の許可、コンピューター記憶媒体、写真雑誌は、モロッコ内務省の検閲があるため、何カ月間か預かりとなるので注意が必要である。書籍を大量に受け取る場合にも、内務省にリストを提示して許可を受ける必要がある。

(3) 国際宅配サービス

ラバトにはDHLとUPSの営業所があり、依頼すると事務所(あるいは自宅)まで取りに来る。料金は重量による。UPSが割安。日本までは3~4日で着く。書類、小包、CDなどを送付できる。

< DHL >

所在地: 40, Ave. France, Agdal, Rabat

電話: 0537-779934/35

営業時間: 8時半~18時半(月曜から金曜日)、9時~12時(土曜日)

日曜、祝日定休

日本までの料金(目安): 書類(1,600DH/kg)、荷物(1,700DH/kg)

< UPS >

所在地: 63, Ave IBN SINA

電話: 0537-675675 / 673673 (フリーダイヤル0800- 035456)

営業時間: 8時～19時(月曜から金曜日)、8時～12時(土曜日)

日曜、祝日定休

日本までの料金(目安): 書類(1,500DH/kg)、荷物(1,600DH/kg)

9. コンピューター



9-1 ハード、ソフト

(1) 調達方法

パソコン、周辺機器は、TOSHIBA, Canon, Acer, SAMSUNG, Lenovo (IBM)、Apple (Macintosh)、HEWLETT PACKARD、EPSONなどが調達可能である。IBMの代理店はカサブランカ、Appleの代理店はカサブランカとラバトにある。

そのほか消耗品は、ラバトではスーパーマーケットのMetro、Marjane あるいはアグダル地区にある専門店で調達できる。

通常は仏語のOS、アプリケーションしか売っておらず、英語を入手するのも難しい。日本語は入手不可能。周辺機器は全て入手可能。なお、プリンタインクは高価。

(2) 使用の際の注意

停電は少ないが、若干電圧が不安定なので、できればスタビライザーがあると良い。仕事用のパソコンには、スタビライザーが必須。モロッコ人が使用しているパソコンは、ウィルス対策をしていないことが多いので、ウィルス対策ソフトも必須。

コンセントの形状、電圧に関しては「1-7 家電」参照。

(3) 修理

修理は、購入した販売店に依頼する。パソコン専門店では、簡単な修理に対応できるが、日本のメーカー(例: 東芝、富士通、パナソニック、シャープ、ソニー等)は代理店がないので、モロッコでの修理は難しい。

10. 職場環境、勤務条件



10-1 職場環境、勤務条件

(1) 就業時間

官公庁の就業時間は8時半～16時半 が一般的で、12時～13時の間に30分間の休息を任意にとることが出来る。ラマダン月の就業時間は、9時～15時となる。

公務員の残業手当は、1時間当たり平常勤務の1時間当たりの賃金の1.25倍。土日はその1.5倍である。祝祭日に勤務した場合は、1か月分の給与を日割りで計算した日額単価を支給されたうえで、振替休日も認められる。

(2) 有給休暇

官公庁は年30日間の有給休暇を有するが、週末に連続して休む場合は、週末も有給休暇と見なされる(例:金曜日に休暇をとる場合、有給休暇は金、土、日の3日間と見なされる)。

(3) 執務室

官公庁の執務室は個人部屋が原則で、部長クラス以上の執務室には、それぞれの会議室兼客間がついているか、執務室が十分広い場合は、会議用机椅子および応接セットが入っている。局長クラス以上には秘書室がついており、秘書およびタイピストが控えている。入室は必ず秘書室を経由することになり、直接局長室には入れない。課長クラスは、小個室か2人部屋になることがある。

(4) 通勤事情

各省は通勤用バスを保有していて、公務員の通勤に無料で提供している。上級公務員は、通常自家用車で出勤する。大臣、次官以外には公用車を貸与しないので、自家用車で出勤する公務員には、交通費が距離に応じて支払われる。省の通勤用バスを利用する公務員には交通費は出ない。

11. 出入国手続き



11-1 入国

(1) 空港施設概要

ラバト・サレ国際空港は、外国人、モロッコ人要人の出入国を主目的として設立された。国際空港としてはパリ(シャルル・ド・ゴール空港及びオルリー空港)、マドリッドとの定期便があるのみ。最近では国内線の就航、格安航空会社の就航を進めているが、観光都市の空港に比べると機能が弱い。

カサブランカ・モハメッドV空港は、モロッコ国内最大であると同時に北アフリカにおけるハブ空港となっている。全ての国内運行網をもっており、ヨーロッパ主要各国、西アフリカ各国、アメリカへの国際便が就航している。

その他の主要国際空港として、アガディール、マラケシュ、フェズ、タンジェといった観光都市の空港が挙げられる。

(2) 入国手続き書類

入国カードは、機内で配布される場合とされない場合がある。機内で配布されない場合は、到着後、入国審査前に記入する。

(3) 入国審査

窓口はモロッコ国籍保有者、外交官、一般の区別があるが、明確に分けられておらず、モロッコ人が外交官の列に並んでいたりすることも多い。旅券、記入済みの入国カード、(既に取得している場合は)滞在許可証を審査官に提出する。

3ヶ月以上滞在する場合は、入国後に滞在許可書などを取得することになる。

審査後、パスポートの返却とともに名刺大のカード(書類審査を終了した証拠のカード)を渡されるので、窓口を出たところで警官に手渡す。荷物の引き取りと

税関検査は、隣の部屋で行われる。

(4) 税関検査

酒類3本、タバコ200本までは免税である。長期滞在者による電気製品(新品)、ビデオカメラ、パソコン、機械部品、多量の薬品などの持ち込みは税関のチェック対象となる。仮に見つかった場合には没収の可能性もあるので、梱包には注意を要する。

ポルノ雑誌、わいせつDVDなどは没収される。国王および王室に関する誹謗記事、あるいは誹謗書籍は輸入禁止である。税関で没収されるばかりでなく、禁固刑を言い渡される可能性もあるので、一切持ち込まないこと。また、輸入禁止リストに乗っている書籍を知らずに持ち込んだときは、没収されても税関吏と争わないこと。書籍等において、モロッコの地図が描かれている場合は、モロッコと西サハラの国境が描かれていると没収されるため、要注意。

モロッコでは麻薬の取引が増えており、麻薬所持で逮捕されると、場合によっては執行猶予なしで最高30年の刑になる。出入国時に、見知らぬ人から絶対に荷物を預からないこと。

外貨持ち込みは特に制限がないが、現金または持参人払有価証券の対価が10万DH以上の場合は、入国時に国境税関担当課に申告する義務がある。外貨を再び持ち出せるのは1カ月以内である。その場合、日本または外国で外貨を入手した際に、銀行が発行した証明書を税関に提示する必要がある。1カ月を超える場合は、銀行に外貨換金可能口座を開いて預けなければならない。外貨を持ち出す場合は、その口座から外貨を引き出した証明として、銀行のBordereau de Vente de Devises Billets de Banqueを提示する。

(5) 空港内での留意点

空港内での写真撮影は一切禁止されている。また、出入国ロビーも含め空港内は禁煙である。

荷物引き取り場所に専属のポーターがいるので、1カートあたり10～20DH程度出せば、出迎えの車まで運んでくれる。必要ない場合は、はっきりと断ること。

空港内での盗難はまれだが、被害に遭ったら、ただちに空港警察に届ける。事故発生時も同様である。

病気の場合は、係官、インフォメーションカウンターなどにその旨を伝え、看護室に連れていってくれる。

(6) 出迎え

モロッコでは、出迎え者が税関カウンターの中に入ることが許されていないため、税関カウンターを出たところに待機している。

(7) 空港からの主な交通手段

ラバト・サレ空港からラバト市内に向かう公共交通手段はないので、出迎えが必要である。市内までは、車で30分程度である。待機しているGrand Taxi(グラン・タクシー)を使うと、ラバト市内またはテマラまで200DH(空港インフォメーショ

ンの規定料金)かかる。

カサブランカ・モハメッドV空港からカサブランカ市内、ラバト市内までは鉄道の利用が可能だが、ラバトまでの直通は無く、途中の駅(Casa Port)で乗換えが必要である。リムジンバスがカサブランカの市内へ定期的に出ているが、ラバトへのリムジンバスはない。空港から車でカサブランカ市内まで40分、ラバト市内まで1時間30分程度かかる。遅れて出迎えに会えなかった場合は、空港インフォメーションカウンターに問い合わせ、上記の別の交通機関を利用する。

(8)その他の留意点

パリ - ラバト間のAF(エールフランス)便は、預け荷物の未着がまれに発生している。預け荷物が未着の場合は、税関カウンター近くにいる空港職員に申告する。ほとんどの場合、1~2日待てば後送されてくるが、自宅までの配送はしないため、空港まで引き取りに行く必要がある。未着迷惑料が支払われるが、交通費込みである。未着迷惑料は自動的にもらえる訳ではないので、その場でしっかりと交渉する必要がある。

最初にモロッコに入国する際に、パスポートに入国番号がスタンプされ、この番号は身分証明書のように扱われる。例えば、滞在許可証の発行手続き、出入国の際の旅券審査において必ず確認される。最初に入国する際は、この入国番号が押されたことを必ず確認すること。なお、入国番号は1つのパスポートにつき1回しか押されず、2回目以降の入国時は押されない。

11-2 滞在手続き

(1)在留届

3ヶ月以上モロッコに滞在する日本人は、在モロッコ日本大使館に在留届を提出する。提出は、Faxでも電子届出システムでも可能。在モロッコ日本大使館のホームページから届出手続きが可能。

(2)滞在許可証

3ヶ月以上滞在する専門家、ボランティアなどは、住宅が決定次第、最寄りの警察署に滞在許可証を発給してもらう。滞在許可証は発給までに1~2カ月を要するが、この許可証があれば、旅券の常時携帯は不要である。家族同伴の場合の申請には、日本から「婚姻証明」または「戸籍抄本」を持参し、大使館からフランス語の翻訳証明を取り付けて提出する必要がある。

11-3 出国

(1)出国時の概要

通常通り、チケット確認、荷物検査、出国審査の順番になっている。荷物検査は、他国に比べて簡易である。出国審査を通過した後に免税店があるが、ラバト・サレ空港の免税店は小さく店舗も少ない。

(2) リコンファーム

AF(エール・フランス)は、リコンファームが必要なくなっている。ただし、AT(ロイヤル・エール・モロッコ)は、オーバーブッキングの心配があるので、リコンファームを入れたほうが無難である。リコンファームは、出発時間の72時間前までに行なう。

(3) チェックイン

ラバト空港およびカサブランカ空港から出発する国際線は、2時間前のチェックインが一般的。特に、欧州に住むモロッコ人がヨーロッパに戻る8月末、観光客のピークシーズンの年末年始、4月のイースターの時期は、フライトが大変込み合いオーバーブッキングの可能性があるため、2時間前にチェックインするのが無難。なお、エールフランス便は、事前にインターネットでチェックインすることが可能。

(4) 空港利用税

航空券代に含まれている。

(5) その他の留意点

免税措置で持ち込んだ物品を呈示する。また出国前に売却した場合は、滞在地の税関で税金を支払い、支払い済みのスタンプとサインをパスポートの記入欄に押しもらい、出国の際にそれを税関に呈示する。特に、車については管理が厳重で、空港税関がコンピューターで登録リストを確認するシステムとなっているので、きちんと手続きを済ませておく必要がある。また、公共料金(電話、電気、水道)の支払いについても、出国時にチェックを受けることがあるので、必ず支払いの解約を済ませておく。

11-4 帰国手続き

(1) 帰国時に必要な事務手続き

滞在許可証は、空港のパスポートコントロールに直接返還するか、帰国前に警察に返還し、返還証明書を受け取る。この証明書は出国するときに必要である。

滞在許可証の有効期間が切れている場合、不法滞在期間の日数で計算した罰金を出国時に徴収される。

運送業者を使って引越荷物を輸送する場合には、引越証明書を大使館から出してもらるか、警察から受け取った滞在許可書返還証明書、荷物の詳細なリストを呈示する。

(2) 車の処分

長期滞在者の出国時には、車の処分に関するチェックを空港で受けることがあるので、トラブルを避ける意味でも、モロッコ法規に則って処分しておく必要がある。

(3) 家財道具の処分

後任者がいる場合は、希望売却価格を明示した手紙などで事前に連絡し、相

手の返事を待つ。モロッコで処分する場合は、引越し業者や大家に一括で売る方法、広告を出してガレージ・セールを行う方法が考えられる。

(4) 住宅の明け渡し

賃貸契約を解約するときは、家主へ通常1か月前に書留で通知する。契約時にディポジットを渡してある場合には、最後の月の家賃に充てる。公共料金、電話代の精算については、直接営業所に出向いて契約を解除し、精算を済ませる。公共料金の支払いについて、出国時にチェックを受けることがあるので、きちんと済ませておくこと。

(5) 外貨持ち出し規制

現地通貨は持ち出せない。外貨を持ち出す場合は、外国人口座から外貨を引き出した時の伝票(1か月間有効)か、外国で外貨を入手したときの伝票(1か月間有効)がないと、全額没収される。

12. 治安、 緊急時の心得



生命・財産に直結することでもあり、治安・安全情報に関しては、各自の責任において最新かつ正確な情報を入手してください。

12-1 暴動、クーデターなど

(1) 一般事情

平穏なイスラム国家のイメージがあったモロッコであるが、2003年5月16日、カサブランカで同時爆弾テロ(フランス人3名、スペイン人3名、イタリア人1名を含む45名死亡)が、2011年4月28日にマラケシュで外国人を標的にしたとみられる爆弾テロ(17名死亡)が発生した。政府のテロ対策が強化され、イスラム過激派の取締りが強化されている。在留日本人は関係当局への連絡、通報について常日頃から留意し、在モロッコ日本大使館との緊密な連絡網を確立するとともに、モロッコ住民との友好関係の維持に努めることが肝要である。また、新聞、ラジオ、テレビのニュースなどから、的確な治安関係情報の入手に努め、平素から必要な安全対策を整えること。さらに緊急時の対応策も整えておかなばならない。

(2) 対処法

該当情報なし。

12-2 強盗、盗難

(1) 一般的治安状況

首都圏の治安は安定している。しかし、警察の力が及びにくい下町や、首都圏でも警察が引き揚げた深夜などは安全とはいいがたい。近年はスリ、強盗、性犯罪なども増加傾向にあり、警戒が必要である。大きな行事の際は、住宅地の警備が手薄になり、高級住宅街で軒並み泥棒に入られた事件もある。

日本人にも、泥棒に入られたり、財布や携帯電話、デジカメをすられたりする例は多い。また、町中で見知らぬ人から声をかけられ、気軽について行ったりすると思わぬ被害に遭うこともある。

見知らぬ人に自宅に招かれたりした場合は、昏睡強盗などの被害にあうという

危険を伴っていることを認識する必要がある。

モロッコはハシシ、大麻の産地である。街中でこれら麻薬に誘われることがあるかもしれないが、違法なので毅然とした態度で断る必要がある。

(2) 住宅の防犯対策

ラバトやそのほかの大都市では、ヴィラ(庭付き一戸建て)かアパート形式の集合住宅に住むことになるが、ヴィラの場合は高級住宅街にあることが第一条件である。また、誠実なガードマン(夜警)を雇う必要がある。高級住宅街では周辺住民が共同で夜警を雇っているところもあり、その場合は個人で雇用する必要はない。家を留守にする場合のことを考えて、家政婦も信頼できる人を雇うべきである。また、全階すべて(窓を割って侵入されないよう)に鉄格子があるものが安全である。錠は2つ以上つけること。外で飼う大型犬は、毒を盛られることもあるので万全とはいえない。家屋内で飼う小型犬は、異常事態に敏感に吠えるため役立つ。ヴィラには、屋上に強烈な赤い光を出す警報装置をつけているところもあり、これは強盗よけになる。

アパートの場合は、ほかの住人の顔ぶれも考慮に入れて選定すべきである。また、アパートの住人以外が容易に出入りできないよう、必ず入口に受付係かガードマンが常駐しているところを選ぶ必要がある。

(3) 市中での防犯対策

危険な地域に立ち入ったり、深夜に外出したりしないこと。特に女性のひとり歩きは、昼夜にかかわらず勧められない。また、地方都市に車で旅行する際は、ホテル以外の夜間駐車は避けたほうがよい。

運転中はドアのロックは必ずし、特に夜間は信号で停車しているときは、人に声を掛けられても、凶器を所持しているかもしれないので絶対に窓をあけないよう注意したい。

路上で喧嘩していたり、酔っぱらっている人達のそばを通行したりするのは巻き込まれるといけないので避ける。

人気のない地域は日中でも歩かないよう留意する。

(4) 被害時の心得

うるさく人につきまとわれたりしたときは、付近の店に助けを求めるのが効果的である。被害を受けたときは、関係機関に一報を入れるとともに、警察へ届け出る。警察では、被害届受理後、証明書を発行してくれる。なお外出する場合は、滞在許可証かパスポートを携行しなければならない。

12-3 火災、風水害、地震

(1) 一般的災害発生状況

夏の暑さと乾燥が著しいときに、メディナ(旧市街)で大火が発生することがあるので注意が必要。また、山火事も発生することが多く、2005年夏には山火事が北部山間部を中心に広範囲に渡って発生した。

山間部では夏季に山嵐が発生し、落雷や鉄砲水で死亡事故に繋がることもあるので注意が必要。また、雨期の大雨で家屋を流されたり道路が水没したりするなど水害被害が発生することがある。

地震国ではないが、1960年に起こったアガディール地震は、震度5程度にもかかわらず直下型地震であったため、被害は甚大であった。北部地中海沿いの都市では、弱い地震が1999年8月以降たびたび起きていたが、2004年2月24日、アルホセマ地域において、マグニチュード6.5の地震が起こり、死者628人、負傷者926人、全壊・半壊家屋数2,539件、家屋喪失数15,230人の大災害に至った。現在、建造物は耐震建築ではなく、耐震基準も設けられていない。ひとたび地震が起こると、都市、地方を問わず危険である。

(2) 防災対策

家の内外、周囲をよく観察し、火を出さないように気をつける。また、万一の際に、近所の人に助けを求められるよう、日頃から人間関係に留意したい。

また、ガードマンや家政婦には消火器の使い方など有事の際の対処法を覚えておくといよい。火災保険は強制保険ではないが、加入しておいたほうがよい。植木や並木の傾きに気がついたら早めに対処する(嵐や突風で植木や並木の木が傾き、倒れる場合があり危険。樹木が傾いたら倒れないように補強する)。

旅行をする場合には気象情報に気をつけ、さらに現地の人々の忠告に耳を傾けること。自動車の場合は、大雨が降り始めたら、戻るか、安全な場所から動かないこと。街中や高速道路上でも、出水して車を傷めることがある。また、8月と冬季の山歩きは避けたほうがよい。

モロッコには防災施設はない。災害時ばかりでなく、内陸部では「シェルギ」と呼ばれるサハラの内陸部が吹き、何日間も家に閉じ込められることもあり得るので、ミネラルウォーター、ビスケット、米など、最低1週間分、できれば1か月分程度を備蓄しておくとい安心である。車は常に燃料を半分以上入れておくとい心掛ける。

(3) 被災時の心得

万一、水害に遭ったら関係機関に一報するとともに、必要に応じて近所の住民に助けを求める。火災発生時には消防車(電話:150)が出動するが、到着までに30分ぐらいかかることもある。したがって、各人が日頃から対策を立てておくべきである。家の数カ所に消火器を備え、さらに自宅の蛇口用の長いホースを1本持っているとい安心である。

12-4 緊急連絡先電話番号

警察:19 消防署:15

日本大使館領事部:0537-631785

13. 社交



13-1 風俗習慣

基本的に、イスラム文化で培われた風俗習慣である。しかし、モロッコはイスラム文化圏のなかでは比較的穏健であり、大都市では日本人にとって著しい違和感はない。

年配の男女が、伝統的な服装(ジュラバ、マント、ガンドーラ、カフタン、ヤミース、チャドル)をしているのを時折見かけるが、宗教上の祭りや行事のときには、多くの人がこのような伝統的服装で参加している。外国人は特に服装に注意する必要はないが、女性は不必要に肌を出さないほうがよい。(特に地方で地元の人々と交流する際は気をつける)

モロッコ人は誇り高い民族であり、自尊心を傷つけられることを一番嫌う。

13-2 パーティーでの留意点

公式の大きなパーティーでは、主賓が到着するまで待ち、主賓が到着してから一斉に会場に入る。飲食は主賓が食べ始めるのを待って、あとに続く。主賓より先に退場するのは失礼となるので要注意である。小さなパーティーや個人のパーティーでは、この限りではない。

一般的なパーティーのプレゼントは、生花やお菓子(チョコレートなど)である。ほとんどヨーロッパ式パーティーと変わらない。

13-3 来客時の留意点

モロッコ人同士や親しい間柄であれば両手で抱擁し、顔と顔を合わせてあいさつを交わす。ふつうは歓迎の言葉をフランス語かモロッコ語で述べながら握手をする。その後、応接間に招き入れ、主座に着かせて歓迎の意を表す。

昔は子供を客間に出さなかったが、最近はむしろ子供が出るのを喜ぶ傾向が強い。食事を出す場合、少人数であれば、日本食でもヨーロッパ式に前菜からデザートまで時間をかけてゆっくり進行するとよい。大人数のときには、個人宅でも立食パーティーにするのが一般的になっている。

突然の来客の場合、たとえ何もいらないとと言われても、冬はお茶かコーヒー、夏はコーラなどの清涼飲料水を必ず出すこと。男女を問わず甘いものが好きな人が多いので、あればケーキやお菓子を添えるとよい。日本のせんべいなどの干菓子は口に合わないことが多いので、無理に勧めないこと。

13-4 訪問時の留意点

日本の民芸品や超小型の計算機、文房具など、プティカドゥ(小さな贈り物-扇子が喜ばれる)を持参すると喜ばれる。小さな子供がいれば、小型電子ゲームやおもちゃが喜ばれる。

13-5 禁止されている言動(タブー)

宗教(イスラム教)に対する誹謗や、国王に対する中傷は慎むこと。

左手は不浄の手とされているので、左手で食べ物を取ったりものを渡したりしないこと。左手の握手も慎む。左ききの人は、一言断ればよい。

モロッコ人家庭で女性がいる場合、断りなく写真を撮ったりしないこと。家族の了解を得てからにするのが無難である。

イスラム教徒は豚とアルコールを飲食しないので、自宅に呼ぶ際には留意すべきである。

13-6 日本人会

ラバトには日本人会はない。なお、カサブランカ駐在の日本企業による「水曜会」が組織されている。

13-7 JICA帰国研修員同窓会

研修員同窓会が年に2～3回、交流イベントや技術協力の成果発表会を開催するので在留邦人、JICA関係者との交流の機会がある。

13-8 現地の人々との交流

該当情報なし。

14. 教育



14-1 教育事情

(1) 一般事情

教育機関には公立と私立がある。公立の場合は、原則として小学校から大学まで無料である。使用言語はアラビア語だが、私立学校(有料)では小学校1年からフランス語の授業も始める。

私立学校は、小学校から高校まで多数ある。大学は1994年9月にイフランに私立大学が開校した。そのほか多くの専門学校があり、国に認可され大卒と同等の免状を出す学校もある。

義務教育は小学校6年間、中学校3年間の9年間である。小学校最終学年に試験があり、それに合格すると中学校に進むことができる。中学校最終学年の試験合格後、3年制の高校に進み、高校2、3年の成績、ならびにバカロレア(大学入学資格試験)の成績でバカロレアを獲得する。大学は4年制である。

(2) 日本人学校

日本人学校はないが、ラバトに日本語補習校があり、毎週土曜日午後3時から5時45分まで小・中学生対象の国語の授業を行っている。授業は国語を中心に、3クラス(小学校低学年、中学年、高学年と中学校)あり、それぞれ日本人有志が教師となって教えている。

詳しくは海外子女教育振興財団に問い合わせるとよい。

・海外子女教育振興財団

URL: <http://www.joes.or.jp/>

E-mail: system@joes.or.jp

< 東京 >

住所: 〒105-0002 東京都港区愛宕1-3-4 愛宕東洋ビル6階

TEL: 03-4330-1341

FAX: 03-4330-1355

受付時間: 9:30 ~ 17:30 (月曜日 ~ 金曜日、祝日・年末年始を除く)

< 関西分室 >

住所: 〒530-0001

大阪府大阪市北区梅田1-3-1-200 大阪駅前第一ビル2階

TEL: 06-6344-4318

FAX: 06-6344-4328

受付時間: 9:30 ~ 17:30 (月曜日 ~ 金曜日、祝日・年末年始を除く)

(3) 現地校、外国人学校

公立校に入学するには、アラビア語が必修なので就学は難しい。

外国人学校の編入手続きには、日本の学校の在学証明書および各種予防接種実施証明書(翻訳証明付き)が必要である。新入学の場合は、出生証明書または戸籍抄本と、各種予防接種実施証明書(翻訳証明付き)が必要である。なお新入学の際には試験がある。試験の期日はその年によって違うが、通常は毎年5月である。他国のフレンチスクールからの転校場合は、入学に優先権がある。アメリカンスクールに関する基礎情報は以下のとおり。

・The Rabat American School

住所: B.P. 120 Rabat

電話: 0537-671476、Fax: 0537-670963

使用言語: 英語

HP: <http://www.ras.edu.ac.ma/>

備考: 幼稚園から高等学校までである。入学時に、補習クラスを決定するための簡単なテストがある。

年間授業料:

年少(3~5歳児)プレキンダー: 半日 / 3,720米ドル、全日 / 6,975米ドル

年長(5~6歳児)キンダーガーデン: 全日 / 10,000米ドル

1~5年生: 12,240米ドル

6~8年生: 14,235米ドル

9~12年生: 14,340米ドル

審査料: 550米ドル

入学金: 5000米ドル

フレンチスクールに関する基礎情報は以下のとおり。

・Ecole André Chénier

住所: 32, Charia Abi Raqraq

電話: 0537-724521

使用言語: フランス語

備考: フレンチスクール。幼稚園と小学校がある。入学・編入試験がある。

・Ecole Albert Camus

住所: 17, Av. de Fes

電話: 0537-765339

使用言語: フランス語

備考: フレンチスクール。幼稚園と小学校がある。入学・編入試験がある。

・Ecole Paul Cezanne

住所: Place Jean Courtin

電話: 0537-772658

使用言語: フランス語

備考: フレンチスクール。幼稚園と小学校がある。

・College Saint-Exupery

住所: Rue Al Maarif, Aviation

電話: 0537-750107

使用言語: フランス語

備考: フレンチスクールの中学校。入学・編入試験がある。

・Lycee Descartes

住所: Av. des Nations Unies

電話: 0537-671072 / 73

使用言語: フランス語

備考: フレンチスクール。中学校と高等学校がある。入学・編入試験がある。

以上のほかにも、私立の小中学校、高等学校は多数あり、日本人子弟の編入学が可能である。

フレンチスクールへの編入学手続きは、フランス大使館文化部(SCAC: Service de Cooperation et d'Action Culturelle)が一括して行っており、Webサイト(<http://www.ambafrance-ma.org/efmaroc>)を通じて申請する。各学校の入学案内は、フランス大使館サイトのリンクサイトで見ることができる。フランス大使館は、電話、Fax、メール照会を受け付けておらず、web申請が受理されてはじめて、メールで連絡が可能となる。

(4) 幼稚園

私立の幼稚園が多数あり、日本人子弟の入園が可能である。

私立の幼稚園は、幼児から預かるところ(日本の保育園に相当)から、外国語教育を行うところまで、規模・内容ともさまざまであるが、ラバト市内に多数開園し

ている。授業料(一例)は入学金(年額)1000DH、授業料(月額)800DH(全日)、600DH(半日)、教材費(四半期)400DH。園ごとに教育方針に特色を打ち出しているため、入園申し込みにあたっては、教育内容、入園手続き(テストの有無)、費用などについてよく確認すべきである。

・Raid al Maarifa

住所: Charia Al Jacaranda, Hay Riad

電話: 0537-712211

ファックス: 0537-712211

対象年齢: 3才から6才

使用言語: フランス語、年長組は、アラビア語とフランス語も学習する

授業料その他: 入学金-1500DH、授業料-1100DH(月額)

14-2 教育関係施設

(1) 図書館など

・Bibliotheque Nationale(国立図書館)

住所: Av. Ibn Batouta

利用時間: 08:30-16:30(月曜から金曜日)土曜、日曜及び祝日休館

電話(Fax): 0537-772152

備考: 国立、一般公開。日本人も自由に利用できる。主にアラビア語とフランス語、数は少ないがスペイン語と英語の書籍あり。

・British Council Library(イギリス図書館)

住所: 36, rue Tanger

利用時間: 月曜(14:30~17:45)火曜から金曜(10:00~11:45、14:30~17:45)

土曜(10:00~13:45)日曜及び祝日休館

電話: 0537-760836/48/78

備考: 会員になれば図書館のほか、文化センターの活動も楽しめる。日本人利用可。主にイギリスの英語の書籍であるが、書籍数は少ない。

・Institut Francais(フランス学院、旧フランス文化センター)

住所: 2, Zankat Al Yanboua

利用時間: 火曜から金曜日(10:00~12:00、14:00~19:00)

土曜日(10:00~18:30)月曜・日曜・祝日・木曜午前休館

電話(Fax): 0537-701122、701138

備考: 会員になれば図書館のほか、文化センターの活動も楽しめる。日本人子弟利用可。

・La Source(私立図書館)

住所: Av. Abderrahmane Annegay, Rabat

利用時間: 月曜から金曜日(12:30~16:30)

土曜日(10:00～16:00)日曜・祝日休館

電話:0537-726652

備考:会員制。会費を払えば会員になれる。歴史・人文科学の書籍が多い。イスラム関係書籍はラバトで最も揃っている。日本人研究者の利用も増えている。アラビア語、フランス語、英語の書籍。

・Fondation du Roi Abdul-Aziz Al Saoud

住所:Boulevard de La Corniche, Ain Diab, Casablanca

利用時間:月曜から木曜日(10:30～20:00)、金曜日(10:30～12:30、13:30～20:00)、土曜日(10:30～18:00)、日曜・祝日:休館

電話:0522-391027、0522-391030

備考:サウディ・アラビアの資金でできた財団による、モロッコ最大の図書館。量、質とも、ほかの図書館をしのぐ。専門家向けの各種文化活動が活発。雑誌「Prologues」を月1回発行。イスラム関係が主。入場無料、閲覧自由、貸し出しなし。催し物は郵便で告知している。アラビア語、フランス語、英語の書籍。

15. 家庭の使用人



15-1 一般事情

使用人は必ずしも雇う必要は無いが、慣れないモロッコの生活を補助してもらえるメリットがある。モロッコでは使用人として働く人が多く、求職者は多いものの、能力と人柄に信用のおける人物を選ぶのが難しい。日本人の知人や職場関係者に紹介してもらるのが最善である。

アパートの場合は家政婦のみで足りるが、庭付き一戸建ての場合は、庭師や警備員(ガルディアン)も必要になる。また、モロッコは運転マナーが悪く、もらい事故が発生する可能性も高い。モロッコ人は簡単には自分の非を認めないので、交通事故が発生した後の現場検証においてアラビア語でまくし立てられると、対応できずに不利な状況に追い込まれかねない。万が一を想定し、運転手を雇って常に運転してもらうのも手である。

一般に給与は週給制で、月曜から土曜まで勤務し(警備員の場合は日曜勤務もありえる)、週末に勤務日数分を支払う。日曜は休日として扱うが、双方の都合の良い条件を話し合っ決めて決める。雇い主が長期休暇の際は、警備員以外の使用人は仕事が無くなるが、給与は100%支払う必要がある。給与の他にも、通勤代(多くはバスで通勤)、特別給与(ラマダン明け、羊犠牲祭のイスラム2大祭典の直前に給与の1週間分程度)を支払う。

雇用する際は雇用条件を契約書で確認し、IDカード(Carte nationale)のコピーを保管しておくとい。

15-2 運転手

(1) 雇用

モロッコではタクシーが一般市民の足として発達しており、ドライバーを生業とする人は多い。身元がしっかりしており、経験豊富で健康的な人が望ましい。面接で人物を確かめ、運転技術を見るために路上テストをすること。ドライバーの場合、行き先が把握できればそれ以上の会話は必要最低限となるが、少しでもフランス語を話せた方が便利である。雇用前に、信用あるクリニックで健康診断を受けてもらうこと(費用は雇用主負担)と、本人が住んでいる住居を確かめることが必要である。

契約事項は次のとおりである。

賃金および支払い方法: 一般に日給の場合、1日約8時間労働で100DH。週末に実働日数分を支払う。月給の場合は2000DHが相場。

勤務時間: 臨機応変に対応する。あまり厳密に時間を決めず、16:00以降に労働した場合は、1日あたり10~20DH程度加算すればよい。

休日・休暇: 土・日曜日、または日曜休日である。

ボーナス: 前述のとおり、2大祭典の前に1週間分程度の特別給与を支払う。多くても、500DH程度。

交通費: 1日10DH程度。

解雇条件: 運転手に重大なミスがあった場合は、解雇の理由となる。帰国時期がわかっている場合は、あらかじめ雇用期間を契約書に明記しておく。

退職金: 一般に給与1カ月分である。運転手の重大なミスにより解雇する場合は、支払う必要はない。ただし、相手の事情や心情を十分考慮することが肝要であり、不当な解雇や退職金支払拒否など、日本人の評判を悪くすることは避けるべき。

試用期間: 1週間から1カ月。

(2) 日常管理

出勤簿を作成し、出退勤時にサインを求める。走行管理表の毎日の記入(走行距離、修理箇所、燃料など)を義務づけるとよい。洗車は定期的に指示を出せばよい。

(3) 教育指導

雇用当初は、運転マナー(スピードの出しすぎなど)、走行距離のチェック、点検・整備などの車両管理を繰り返し指導すること。

モロッコ人は自尊心が強く、一般に自分の行動が正しいと考えている。問題があったとしても、頭ごなしの管理・指導は心象を悪くし、運転態度に反映される。安全性にも問題が出るため、相手の性格を念頭において注意すること。ただし、問題を見過ごしていると、勤務態度が悪化するため、トラブルが発生したときにはその場で厳重に注意することも必要である。

(4) その他の留意点

雇用主として一線を画すこと。車内にカメラや、その他の貴重品を放置しておかないこと。

15-3 家政婦/夫

(1) 仕事の種類と人数

主に掃除、洗濯、食事の準備、食卓の後片付け、皿洗いなどを行う。一般にモロッコ人は子供が好きで、子守りに慣れているため、子供を預けて外出することもできる。特別大きな家でなければ、1人の家政婦で十分である。家政夫(ボーイ)は、政府高官、実業家など客の出入りが多い家で勤務していることもあるが、稀である。自宅でレセプションやパーティーを開くときに、仕出し屋を通して臨時のボーイを雇うこともできる。

(2) 雇用

モロッコの生活習慣と日本人家庭には大きな違いがあるため、既に日本人の家で働いたことのある人を選ぶのが望ましい。使用人の中では、最も雇用頻度が高く、顔を合わせる時間も長いため、フランス語である程度意思疎通できることが最低条件となる。また、何かと生活を補助してもらうため、近辺に住んでいるとなおよい。直接家に売り込みにくる人は信用しがたいので、雇わないこと。以前の雇用主の労働証明書を持っている場合、可能であれば電話で問い合わせるとよい。

1週間から1か月間は試用期間とし、様子を見る。特に子供のいる家庭では健康状態を重視し、必ず雇用前に信頼できるクリニックで健康診断を受けてもらう。

賃金の相場は、週給300～400DHである。また、料理の腕も重要で、モロッコ料理以外の心得があったり、きれいな盛り付けが出来たりすると、来客時に重宝する。料理の腕前によって給与を加味するとよい。

(3) 日常管理

出勤時間を定めて時間を守ってもらう。特に小さい子供のいる家庭では、出勤してきたら、まず手を洗い、うがいをすることを教えること。やるべき仕事が終わってから帰るよう指導する。仕事の範囲と内容、作業手順を繰り返し教える。

口答えが多い場合は、将来トラブルが起きる可能性が高いため、雇用は見合わせたほうがよい。試用期間中に別の人を探す。

病欠であっても、休んだ分は給料から差し引くこと。休日分の給料も支払うと、人によっては病欠が多くなることもある。

信頼できる家政婦であったとしても、貴重品は目の届かないところに保管し、在宅中でも鍵をかけること。物が紛失したときは、徹底的に原因を究明すること。また、貴重品を保管しているところは施錠しておく。出勤時に袋類は一切持たないことを定め、小さな財布だけを持って出勤してもらう。また、帰宅する際は、台所口または玄関まで家人が送り出す習慣をつけるとよい。

家の鍵は、よほど信頼できる人を除いて渡さないこと。どうしても渡さなければならぬときには、一戸建てならば住宅の鍵は家政婦/夫、門の鍵はガードマン、と分けて預ける。家人のいないときに私用電話をする人がいるので、はじめに禁止しておくこと。

エプロンは清潔なものを数枚支給し、常に身だしなみに留意してもらおうとよい。

雇用主は、常に明確な指示を出すことが肝要である。あいまいな指示や、ためらった態度は関係を悪化させ、仕事の効率も悪くなる。言葉(フランス語、アラビア語)に自信がなければ、日本語と手振り、身振りで指示しても、徐々に慣れてくるので、指示を諦めないこと。いずれにせよ、あいまいな指示はトラブルのもとになる。

問題があって解雇するときは、週末の給料支払い時に、来週からは来なくてもよいとはっきり伝えること。雇用主の都合で解雇するときは、1週間分を退職金として支払う。

15-4 庭師、警備員

空き巣被害も多く、家を空ける場合は長期、短期にかかわらず、留守番をおくことが望ましい。特に一戸建てが狙われるので、留守番を兼ねてくれる庭師や警備員を選ぶとよい。

一戸建ての場合はほとんど庭付きであるが、ほとんどの大家が庭の手入れにうるさく、庭の手入れが入居の必須条件になっていることも多い。場合によっては、大家が庭師を指定して派遣してくることもあるが、自分で探す場合は技術よりも人間性を重視するとよい。本格的な庭木の手入れは、年に数回専門店に依頼し、庭師には定期的な維持管理をしてもらおうと考えればよい。毎日来る必要がなければ、週に何度か来てもらうこともできる。日当は50～100DHで、週給制である。庭の水撒きだけする場合は、日当を若干安くすることもできる。

警備員は、信頼できる知人や職場関係者に紹介してもらうことを推奨する。平均的な勤務時間は夕方18:00から朝8:00ごろまでの半日勤務である。原則として、警備員は建物の中に入れない。

雇用条件は「16-2 運転手」の項を参照。人材派遣会社と契約する場合、契約書の記載事項は会社による。勤務場所、勤務内容、時間、賃金、契約破棄の手続きなどが記載されているので、よく読んでから双方でサインする。人材派遣会社所属の場合は、6000DH/月程度かかる。個人的に雇う場合は、100DH/日程度と安価であるが、十分信用のおける人を探すことが重要である。

16. メディア



16-1 新聞、雑誌

(1) 現地発行の日刊紙

アラビア語紙とフランス語紙がある。新聞は街頭販売で1部3～4DHである。小売店と個人的に契約して月極めで支払うこともできるが、料金は変わらない。現地通貨で支払う。

アラビア語紙には「Al-Alam」（イスティクラル党機関紙）や「Al-Bayane」、「Al-Ittihad al-ichtiraki」、「Al-Mithaq」がある。

主なフランス語日刊紙には「L'Economiste」（経済紙）、「Le Matin」（右派系）、「L'Opinion」（右派系紙）、「Al-Bayane」（旧共産党系紙）、「Aujourd'hui Le Maroc」、「Al-Maghrib」、「Liberation」（USFP党系）、「Le Journal」等がある。また、週刊誌としては「le journal」（15DH）、「telquel」（15DH）等がある。

(2) 日本の日刊紙

OCSのサービスを受けられる。「朝日新聞」「日本経済新聞」の2紙は、パリからロンドン衛星版を取り寄せることができる。購読申し込みと支払いは、OCS EUROPE（電話：05331-49458100）に連絡する。3～4日遅れの宅配である。日本語紙の街頭販売はない。

(3) 欧米紙 / 誌

すべて街頭販売である。通常はその場で現地通貨で支払うが、小売店と個人契約を結んで月払い（現地通貨）にすることはできる。英語紙は1日遅れになる。

< フランス語 > (1部料金)

新聞

「Le Monde」：10DH

「France-soir」：11DH

「Le Figaro」：10DH

「Liberation」（モロッコの同名の新聞とは異なる）：12DH

雑誌 (1部料金)

「Paris-Match」：18DH

「Nouvel Observateur」：24DH

「JEUNE AFRIQUE」：20DH

< 英語 > (1部料金)

新聞 (1日遅れ)

「Financial Times」：20DH

「Herald Tribune」：18DH

「The Independent」：39DH

雑誌

「NewsWeek」：33DH

「Time」：32DH

(4) 日本の雑誌、書籍

現地では、日本の出版物を購入できる店はないので、雑誌、書籍等日本のOCS等書籍類を海外通信販売する業者を利用する。

16-2 ラジオ

(1) ラジオ放送局

Société Nationale de Radiodiffusion et de Télévision: SNRT (モロッコ国営放送)によるラジオ放送、Radio 2M, Mediterranee International, SAWA等、数多くのラジオ放送局(FMおよびMW)があり、主にフランス語、正則アラビア語、スペイン語、わずかであるが英語によるニュース、音楽番組を流している。

スペインのラジオ放送はMWおよびSWで容易に聞ける。

(2) NHKワールド・ラジオ日本(ラジオジャパン)

2011年10月現在で、モロッコで受信可能な周波数(日本語放送)などは次のとおりである(時間はモロッコ時間)。

放送時間

02:00 ~ 05:00 17560kHz

17:00 ~ 19:00 15445kHz

19:00 ~ 22:00 9670kHz

22:00 ~ 23:00 9620kHz

周波数や時間帯についての問い合わせは次のとおりである。

<ラジオジャパン問い合わせ先>

NHK国際放送局国際編成部

所在地: 〒150-8001 東京都渋谷区神南2-2-1

電話: 海外から: +81-3-3465-1111 (平日 / 日本時間10:00 ~ 19:00)

日本国内から: 0570-066066 (NHK視聴者コールセンター / 24時間受付)

E-mail: nhkworld@nhk.jp

<周波数表、番組表の入手>

URL: http://www.nhk.or.jp/nhkworld/japanese/radioguide_i.html

(周波数表、番組表確認)

FAX: +81-3-5454-0888 情報番号260

(日本語放送の周波数表・番組表FAXサービス)

郵送: 上記NHK国際放送局企画編成部に請求する。(無料)

(3) 聴取可能なその他の外国放送

BBC、Radio France Internationale、Voice of America、Deutschwelle、Radio Monte-Carloなどの放送を聞くことが可能である。特に、Radio France International (RFI) が早朝から夜22:00まで常時受信可能である(15300kHz、9790kHz、6175kHzなど)。ラジオは、ソニー製ICF-SW30以上の性能のものが必要である。

16-3 テレビ

(1) 地上波放送局

地上波放送はSociété Nationale de Radiodiffusion et de Télévision: SNRT (モロッコ国営放送)による1チャンネル(AI Maghrebia)と民間放送2Mの2局がある。主に正則アラビア語とフランス語で放映されている。英語放送はない。

(2) 衛星放送、ケーブルテレビなど

衛星放送は、Medi1のほか、契約により上記SNRTによる3チャンネル(Arryadia)、4チャンネル(Arrabiâ)、5チャンネル(AI Maghribia)、6チャンネル(Assadissa)、7チャンネル(Aflam TV)、CNN、BBC World Service、TF1(フランス語)、TV 5(フランス語)、CNBC、Fox Series、Fox Movies、等多くの衛星放送が受信できる。

NHKワールドTVは無料で受信できるが、欧州向けにNHKと民放の番組を中継しているJSTVのデジタル放送は契約が必要である(一部ニュースは無料)。JSTVはロンドンに本社があり、欧州各地に代理店があるが、モロッコには代理店を置いていないので、加入手続き(専用チューナーの入手が必要)の面で若干不便である。受信状態は一時悪化したが、2000年6月に開始されたデジタル放送が良好に受信できるようになった。

・JSTV(ロンドンの本社に問い合わせる。モロッコでの代理店は存在しない。)

所在地: Japan Satellite TV (EUROPE)ltd. JSTV Customer Service

65 Clifton Street, London EC2A 4JE UK

電話: +44-207426-7330

ウェブサイト: www.jstv.co.uk/

(3) テレビ受信

テレビの受信方式はSECAM方式を採用している(日本はNTSC)。受信機は、現地での購入が容易で機種も多く、価格面でも大差ないので、日本から持ち込む必要はない。衛星放送受信のためのパラボラ設置は安価な受信機とパラボラ可動機込みで1,400DH程度で購入可能。

17. スポーツ、 趣味、 語学学習



17-1 スポーツ

(1) ゴルフ

<ラバト>

・ロイヤルゴルフ・ダル・エッ・サラム(ROYAL GOLF DAR ES SALAM)

住所: Dar Es Salam, RABAT

電話: (0537) 755864/65

FAX: (0537) 757671

料金: ビジターフィーは500DH、キャディーフィーは100DH。年間会員制度も有。

初年度入会金含め12.000DH, 継続次年度8.500DH

備考:上級者向き 赤コース 18ホール

中級者向き 青コース 18ホール

初心者向き 緑コース 9ホール

他にもマラケシュ、アガディール、フェズ、エルジャディーダ等各地にゴルフコースがある。ゴルフ場内にはプロショップがあり、カサブランカ市内にはゴルフ専門店がある。

(2) テニス、フィットネス

・CLUB WIFAQ (ウイファック)

所在地: 6,8KM Route de Zaërs, RABAT

電話: 0537-754539

FAX: 0537-754290

料金: 入会金-2000DH(家族)年会費 :ひとり-1200DH、カップル-2000DH、子供-800DH

ビジターとして利用可能料金は季節により異なる1日(50~80DH)

備考: テニス、屋外プール、ペタッグ、ミニサッカー、バスケットボール、レストランとカフェも完備。テニスショップもありガットの張替えも可能

(3) そのほかのスポーツ

乗馬クラブ

・Federation des Sports Equistre

所在地: Av. Iman Malik 10km, RABAT

電話: 0537-754424

・Hotel Kasbah

所在地: Rose Marie Plage

電話: 0537-749133

サーフクラブ

・Oudaya Surf Club

所在地: Plage des Oudayas, Rabat

電話: 0537-260686

この他にも、小規模フィットネスクラブや室内スポーツクラブがあり利用可能。ラバトのメガモール内には、ボーリング場とスケートリンクがある。

17-2 趣味

- ・ 魚釣り(海)を楽しむことができる。釣り道具店がある。
- ・ 楽器、ダンス等も習うことが出来る。
- ・ 語学学校が多くあり、個人教師を含め勉強することが出来る。

17-3 語学学習

(1) 語学学習施設

・Institut Francais

住所: Ave; Hassan II, Bab Tamesna

電話: 037-694731

FAX: 037-295812

料金: 4ヶ月 (1200DH)

備考: フランス語。6月1ヶ月の集中講座、10月から1月と2月から5月までの各4ヶ月間のコースがある。入学の際、試験をしてクラスを決める。授業時間は、週2回、2時間の授業。

・Ilcs (Institute for Language and Communication Studies)

住所: 29, Rue Oukaimden, Agdal

電話: 0537-675968/675965 Fax: 0537-675965

アラビア語、ベルベル語、フランス語、スペイン語

(2) 家庭教師

家庭教師によるフランス語、アラビア語、英語の学習が可能。

18. 観光



18-1 地方旅行の留意点

西サハラを除けば、全国各地を自由に旅行ができる。パスポートか滞在許可証は常に携帯しなければならない。

西サハラへの旅には警察の許可が必要である。普通旅券の所持者は西サハラを旅行できるが、現在注意喚起が外務省から出ている。

主要観光地への交通は、長距離バス、タクシー、列車、飛行機などがあり、便利である。幹線道路も整っているが、乗合タクシーとバスはスピードを出して走る傾向があり、整備も不完全なことが多いので、利用の際には後部座席に乗る、運転手に注意するなどの注意が必要である。

全国的に治安は比較的よい。警察の検問が所々にあるが、主に交通取り締まりを目的としている。

モロッコ人が同行する場合は、C.I.N(身分証明書)、出張命令書など、警察の取り締まりにあったときにその身分を説明できるように、きちんと準備しておく必要がある。過去には、外国人相手の自称「ガイド」と間違われて、警察署に連行されたケースがいくつかある。

地方の観光地として有名なタンジェ、フェズ、マラケシュでは、悪質な自称「ガイド」を避けるため、ホテルの受付で公認ガイド(オフィシャル・ローカル・ガイド)を紹介してもらうのが賢明である。公認ガイドは胸に鑑札をつけている。料金は交渉により決まるが、英語・仏語(日本語)半日150(300)DH、1日350(750)DHが実勢価格である。料金支払いは後払いにする。また、希望する訪問箇所を観光前

あらかじめガイドに伝えておくにより効果的に観光できる。

モロッコ政府は観光客誘致に腐心しており、一般に外国人に対する官憲の態度は親切である。ただし、麻薬保持の現行犯で捕まった場合は禁固刑30年が科せられ、外国人でも30年の刑を受けることがあるので、絶対に所持してはならない。

自動車旅行の際には、道端でヒッチハイクをしている人を絶対に拾わないこと。制服を来ている公務員(警官、国家警察官、軍人など)は、ヒッチハイクをしてはいけないことになっているが、高速道路の入口ではしばしば見かける。問題が起きるのを避けるため、拾うべきではない。

スリが列車内や駅の改札口の人込みに紛れていることがあるので、注意が必要である。置き引きも増加しており、バスや列車の中で荷物を盗まれることも多い。また、睡眠薬入りの飲み物をすすめ、眠ったところで荷物を持ち逃げする手口もある。パスポートは荷物の中に入れず、身につけておくべきである。特に日本人はねらわれやすいので、十分な警戒が必要である。旅行中、物乞いに付きまといわれて困ったときは、一言「アラ-イサハル」(アラビア語で「神があなたの苦難を軽くしてくれるでしょう」というと、あきらめて離れて行く。

道中、あるいはホテルなどでモロッコ人と知り合いになった際は、政治論争、特に王国あるいは国王についての話には参加しないこと。宗教論争も避けたほうが賢明である。また、見知らぬ人に食事やお茶にしつこく誘われても、丁重に断るべきである。相手が日本語を話すからといってすぐに気をゆるし信用するべきでない。

18-2 主要観光地・保養地

モロッコでの観光は、大別すると、海岸沿いの保養地滞在、内陸のインペリアル・シティー巡り、中・高アトラス山脈の登山、サハラ砂漠旅行に分けられる。また、それらを組み合わせて、コントラストのある旅を楽しむこともできる。

< Rabat(ラバト) >

ラバトの主な見どころとして、モハメッド5世の霊廟、ハッサン塔(12世紀アルモハッド王朝)、シェラ(ローマ時代の遺跡とアルモハッド王朝の陵墓)、ウダイヤのカスバ(ブルーグレグ川が海に注ぐ地点にアルモハッド王朝時代に建立されたカスバ。対岸のサレ市と海を見晴らすカフェでひと休みできる)、現アラウイ王朝の王宮、考古学博物館がある。

ケントラに向かって北へ17kmの地点にあるPlage des Nations(プラージュ・デ・ナション)に、Musée Belrhazi(民族博物館)が96年に開館した。4000点の民族芸品(特に刺繍、絨毯、民族衣装、家具、宝石など)を所有する、モロッコ初めての民営博物館である。

< Marrakech(マラケシュ) >

最も有名な観光地であり、ラバトから南東へ326km、高アトラス山脈の麓にあ

る。ラバトから車、列車で4時間を要する。

ジャマエルフナ広場の大道芸、クツビアの塔、メディナ、バヒア宮殿、ダール・シ・サイド民族博物館、メナラ庭園などが有名である。メディナでは、民芸品、絨毯、骨董品など、時間をかけて探せば掘り出し物が見つかる。

モロッコ最高峰のツブカル山の登山口Imililの村まで車、バスで1時間強である。

また、砂漠の入り口の町ワルザザート、高アトラス山脈の村ウリカや青と白のエキゾチックな漁港の町エッサウィラなど、マラケシュを基点としてさまざまな日帰りエクスカーションが計画できる。

また、マラケシュには、さまざまなレストランがあり、食事には不自由しない。

マラケシュの主なホテルは次のとおりである。

・La Mamounia(ラ・マムニア)

所在地: Av. Bab Jdid

電話: 0524-388600

FAX: 0524-444660

備考: 2009年9月末に改装オープンされる、世界的に有名な高級ホテル(付
属施設)プール、テニス、ミニゴルフ

・Le Meridien N'Fis(ル・メリディアン・ヌフィス)

所在地: Av. de France

電話: 0524-339400

FAX: 0524-447446

備考: 新しいホテル 5 上 (付属施設)プール、テニス

・Kenzi Farah(ケンジ・ファラー)

所在地: Av. Pr. Kennedy

電話: 0524-447400

FAX: 0524-438216^{12 524 43 82 16}

備考: 4 (付属施設)プール、

・Tichka Salam(ホテル・ティシカ・サラム)

所在地: Semlalia Route de Casablanca BP 894, Triangle d'Or

電話: 0524-448710

FAX: 0524-448691

備考: メディナ、新市街から少々遠いが、人気のある4 。

・Imperial Holiday(インペリアル・ホリデー)

所在地: 30, Ave Moulay Rachid, Gueliz

電話: 0524-434545

FAX: 0524-448085

備考: 4

・Ibis Moussafir(イビス・ムサフィール)

所在地: Av. Hassan II Place de la Gare

電話: 0524-435929

FAX: 0524-435936

備考: マラケシュ駅のすぐ隣にある便利で清潔なホテル。3

- ・ Marrakechにはリアド(Riad)とよばれる小さなホテルが点在している。このホテルは、かつての伝統的な邸宅を改装し、近代的な設備を装備したもので、モロッコ的な雰囲気が味わえ、近年欧米人から人気がある。

< Fes(フェズ) >

ラバトから東北東へ198km。周囲24kmの城壁で囲まれた旧市街-メディナは、ユネスコの世界文化遺産に指定されている。迷路のように張り巡らされた複雑な細い道の唯一の輸送手段は今なおロバ。メディナの中では、人々が居住し、活気のあるスークや日常生活を垣間見ることができる。フェズの歴史は古く、かつてフェズはモロッコの文化の中心地であったため、陶器、絨毯、織物、刺繍、革製品、木工品などの民芸品作りが今なお盛んである。

フェズの主なホテルは次のとおりである。

・SOFITEL Palais Jamai(ソフィテル・パレ・ジャマ)

所在地: Bab El Guissa

電話: 0535-634331

FAX: 0535-635096

備考: メディナ(旧市街)を見下ろすメディナにある5 高級ホテル。メディナ部屋からはメディナが見渡せる(料金は割高)

・Jnan Palace(ジュナン・パレス)

所在地: Ave Ahmed Chouki

電話: 0535-652230

FAX: 0535-651917

備考: 新市街の5 ホテル。

・Les Merinides(レ・メリニッド)

所在地: Borj Nord

電話: 0535-645226

FAX: 0535-645225

備考: メディナを見渡せる丘の上にある5 ホテル。

・Ibis Moussafir(イビス・ムサフィール)

所在地: Ave des Almohades

電話: 0535-651902 ~ 06

FAX: 0535-651909

備考: 列車の駅に隣接する便利な3 ホテル。

- ・ Fesのメディナの中にもリアド(Riad)とよばれる伝統的な邸宅を改装し、近代的な設備を装備した小さなホテルが点在しており、モロッコ邸宅の雰囲気を楽しむ滞在が経験できる。

< Agadir(アガディール) >

ラバトの南608kmにあり、大西洋岸の近代的な保養地である。一年中、温暖な気候でビーチリゾートとして有名。1960年の大地震の後、町は再建されて飛躍的な発展を遂げ、リゾートホテル、ブティック、レストランが点在し、のんびりしたバカンスの雰囲気があり、ヨーロッパからの観光客で一年中にぎわっている。

町中は、小さいスーパーマーケットがあちこちにあり便利。

ラバトやカサブランカからアガディールに向かう場合、大西洋岸沿いを南下するルートも時間の余裕がある場合お勧めである。エルジャディーダ以南の道は、舗装が悪く道幅も狭いが、アガディールに到着するまでに、エルジャディーダ(16世紀にポルトガルの城壁が築かれ、町はマザガンと呼ばれた)、サフィ(16世紀ポルトガル領。漁港、燐鉱石処理工場、陶器)、ワリディア(カキ養殖で有名)やエッサウィラ(16世紀以来、スペインとポルトガルの影響を強く受けた港町。特産品は銀製装飾品と木工品)など、内陸にある町とは異なる雰囲気のエキゾチックな街を通るので楽しみも多い。一方、マラケシュを通過していく道は、高速道路が開通しており、時間的にはずっと早い。

アガディールの主なホテルは次のとおりである。

・SOFITEL Agadir(ソフィテル・アガディール)

所在地: BP226, P4 Baie des Palmiers Commune de Bensergao

電話: 0528-820088

FAX: 0528-820033

備考: 5

・KENZI Farah(ケンジ・ファラー)

所在地: Bd. du 20 Aout

電話: 0528-821212

FAX: 0528-823435

備考: 5

・Riu Tikida beach(チキーダ・ビーチ)

所在地: BP 901, Chemin des Dunes

電話: 0528-845400

FAX: 0528-845488

備考: 4 ビーチに隣接しているホテル。

・Anezi(アネジ)

所在地: Bd. Mohammed

電話: 05288-840940

FAX: 0528-840713

備考:4

・Residence Yasmina (レジデンス・ヤスミナ)

所在地: Rue de la Jeunesse

電話: 0528-842660/842565/843084/842430

FAX: 0528-845657

備考: 料金も手ごろなアパートメントホテル。客室には、寝室のほかにモロッコ
サロン、キッチンもあり便利。

< Tanger (タンジェ) >

ラバトから北へ278kmのところにある、国際都市としてにぎわう港町で映画でおなじみのノスタルジックな街。海岸沿いの散歩道、メディナ、スルタンの王宮と考古学博物館、タンジェの南にあるスパルテル岬(大西洋と地中海の接点)と、ヘラクレスの洞窟(ギリシャ神話のヘラクレスの12の功績と関係があるといわれる)がある。ラバトから高速道路がタンジェまで完成して3時間に短縮された。

近年、建設されたフリーゾーンやタンジェ・地中海港の完成で町も活性化され、新しい列車の駅の完成、市内の道路・公園等も整備され、かつての賑わいが町に戻ってきた。

タンジェの主なホテルは次のとおりである。

・El Minzah (エル・ミンザ)

所在地: 85, Rue de la Liberte

電話: 0539-935885

FAX: 0539-934546

備考: 5 旧市街と新市街に隣接しているので便利。

・Mercure Les Almohades (メルキュール・レザルモハッド)

所在地: Av. des F.A.R.

電話: 0539-940026

FAX: 0539-946371

備考: 4 タンジェのビーチ沿いにあり、新市街及び旧市街の中心地にも比的
近い。

・Intercontinental (アンテルコンチナントル)

所在地: Park Brooks

電話: 0539-936053

FAX: 0539-930151

備考: 4 タンジェの中心地からは少々はなれている。

・Rembrandt (レンブランド)

所在地: Bd. Mohammed V

電話: 0537-937870

FAX: 0539-930443

備考: 新市街にある3。

18-3 旅行代理店

ラバト市内には航空会社の代理店が4店、旅行代理店は14～15店ある。また、外国の航空会社約20社がカサブランカに代理店を出している。

ラバトの主な航空会社代理店および旅行代理店は下記のとおりである。

・Air France

住所: 281, Av. Mohammed V, Rabat

電話 (Fax): 0537-707066

営業時間: 8:30～12:00、14:30～18:30 土曜、日曜および祝日休業

・Royal Air Maroc

所在地: Av. Mohammed V, Rabat

電話: 0537-709710 予約: 08900-00800

営業時間: 9:00～12:00、14:30～18:30 土曜、日曜および祝日休業

・Cap Tours

所在地: 7 rue Damas, Rabat

電話: 0537-733571/732708

FAX: 0537-732708

営業時間: 月曜から金曜日9:00～12:00、14:30～18:30

土曜日9:00～12:00 日曜・祝日休業

・Majestic Tours

所在地: 46, Avenue Al Amir Fal Ould Oumeir, Agdal, Rabat

電話: 0537-675724

FAX: 0537-775321

営業時間: 月曜から金曜日9:00～17:00

土曜日9:00～12:00 日曜・祝日休業

19. 私財の輸送、 引き取り、 購入



19-1 家財道具

(1) 輸送業者

・AGS Mulot Deménagement

国際的な輸送会社

電話: 0537-602042 Fax: 0537-601938

(2) 輸入手続き

本人が赴任時に持ち込む家財とアナカン(航空別送荷物)の荷物については、パスポート、在籍省庁からの就業証明書、B/L、インボイス、パッキングリスト(仏文訳を添付)が必要である。Bon de Franchise(免税許可書)がなくても受け取り可能である。

カサブランカ港へ到着する船便荷物を引き取る場合は、上記の書類以外に、日本からの転出証明の翻訳文を要求される場合があるので、準備しておくことよ

い。

(3) 輸入貨物の受け取り港

一般にカサブランカ港である。アガディールに赴任する専門家などはアガディール港で受け取る。

19-2 自動車

(1) 一般状況

ラバトをはじめとする国内各都市、および各都市を結ぶ道路はすべて舗装されており、一般乗用車での移動に問題はない。通常の日常生活では、四輪駆動車などの特別仕様の自動車は必要ない。

一般車(モロッコナンバー)の新車・中古車を購入・引き継いだ場合には、PATナンバーを選択することはできないが、実体的には大きな問題はなく手続き的には容易なので、赴任後なるべく早く自家用車を運転する必要がある関係者がモロッコナンバー車を購入する例もある。

(2) 輸入手続き

該当情報なし。

(3) 現地での購入

モロッコナンバー車(新車・中古とも)の購入時には、関税(32.75%)および付加価値税(20%)を負担することとなるが、購入時および処分時とも手続きが簡単で、処分時の売却価格も税込み価格となる。価格面では小型車で10万～15万DH、中型車で20万DH程度である。日本車を含め、世界20～30社の車が販売されている。

赴任後なるべく早く自家用車を運転する必要がある関係者が、モロッコナンバー車を購入する例は少なくない。

免税でない車を購入をする手続きは、住所さえ確定していれば簡単にできる。新車はディーラーから購入、中古車は新聞雑誌等の案内、スーパーや店舗の案内板または車に売りますと書いてあるので、電話番号を書き取り、直接交渉。中古車販売店はあまり整備されていない。

(4) 自動車登録

必要書類は次のとおりである。

ア 税関発行の通関済証明書

イ 用紙は3枚綴りの灰色の用紙で、キオスクで購入する。最寄りの警察発行の現住所証明欄に署名捺印してもらう。この時、写真2枚と印紙20DHが必要。

ウ 最寄りの区役所発行の売買契約書署名証明。

エ モロッコの滞在許可証または身分証明書のコピー

運輸省車両登録課(MIN)で登録手続きし、費用は車種によるが、最低1000DHである。

モロッコナンバーの自動車を現地購入する時は、新車の場合はディーラーに手続きを一任する。(最寄りの警察発行の現住所証明だけは自分でする必要がある。)ナンバーは運輸省車輛登録課が発行。中古車を一般の人から購入した場合は手続きを自分でする。最寄りの警察に現住所証明を発行してもらう点と、ナンバーを運輸省車輛登録課からもらうのは新車も中古車も同じである。

(5) 免許証取得

日本の免許証は、運輸省で速やかにモロッコの免許証に切り替えておくこと。原則的に、日本の免許証を運輸省に預け入れる制度をとっている。(専門家およびシニアボランティア向けの一般免許証の場合)

切り替えのための手続きは次のとおりである。

ア 日本のオリジナル免許証と、その翻訳証明書(大使館発行、175DH)

イ キオスク購入できる60日間有効臨時免許証用紙(白色)、3DH

必要証明事項

最寄りの地方警察分署で住居証明書欄に証明してもらう。

ラバトメディナの診療所で視力検査をし、上記の用紙に添付されている資料検査医学証明書に証明してもらう。

印紙局で運転免許手数料として400DHの印紙を収め受領欄に証明してもらう。

ウ ア、イの書類を運転免許窓口に出し、運転免許切り換えを申請する。費用は約200DH。印紙代は免除される。

エ 約一ヶ月後出頭し免許証を受領する。その後保健所に出向き免許書に血液型検査をし、証明してもらう。

免許がない場合は、Auto Ecole(自動車学校)に登録し、運輸省の運転免許試験を受ける。面接と実地試験があり、入学後、約1カ月で免許取得可能である。自動車学校の費用は2000DH程度。自動車学校で必要書類を指示してくれる。

なお、国際免許証(有効期間1年)での運転も可能なため、日本国内の警察で発行の手続きをした上で赴任するとよい。ただし、2011年10月1日から、滞在1年目の国際免許証の有効期間中にモロッコの免許証に切り替えなければならない法律が発令され、国際免許証を更新のうえモロッコ国内で運転することはできなくなった。

(6) 保険、税金

<自動車保険>

強制保険と任意保険がある。強制保険は、対人対物、損害保証、訴訟費用を含む。任意保険は、希望する項目を選び、強制保険に付け加えるもので、新車の場合は全リスク保険を掛けることができる。これは、原因が本人の落ち度によるものでも、対人対物、損害保証、盗難、火災、本人の車の損害などすべてを保証する。

保険会社に直接申し込むこともできるが、代理店に申し込むのが一般的である。

代理店に車のCarte grise(登録証)と免許証を持参する(代理人でも可)と、その場で保険証を作成してくれる。1年間加入が原則だが、理由(帰国時期など)がはっきりしていれば、3カ月、6カ月加入も可能である。ただし、料金は月払い計算で割高になる。

保険会社には、AXXA(代理店Corassur)、RMA WANTANYA等数社がある。料金は車種によるが、自家用車は最低3500DH/年、オートバイでは最低1200DH/年である。

本人に落ち度がある場合の車の破損は、全リスク保険に加入している場合を除いて、保険金は支払われない。

支払いが認められ、保険会社指定の修理工場に出す場合は、費用は保険会社から直接支払われる。指定以外の修理工場に出す場合は、希望する修理工場名と住所を代理店に連絡し、保険会社が指名する鑑定人(工場に同行する)の鑑定が終わってから修理する。修理代は本人が支払い、領収書を代理店に提出して、鑑定人が認定した金額が返金される。返金までに時間がかかるのが難点である。

けがの場合も、保険会社指定の病院で治療を受けた場合は保険会社が直接病院に支払うが、ほかの病院で治療を受けた場合は本人が支払い、領収書を代理店に提出して返金してもらう。

相手方との損害賠償の交渉は保険会社に任せる。いずれの場合も、代理店が常に保険会社の代行をする。

車両の盗難に関しては、「7-2(3)車両の盗難、車上荒らし」の項を参照のこと。

保険金の支払いを受けた後に車が発見された場合は、車は保険会社の所有に帰する。

<税金>

奢侈税(登録時)は、最低1200DH程度(車種による)である。イエローナンバーは免除される。

モロッコナンバーの車のみ、毎年1月に納税し(税務署は指定される)、Vignette(自動車税納税済証)をもらう。普通車は、最低350DH(ガソリン車)~1000DH(ディーゼル車)であり、最高で4000DHとなる。四輪駆動車は3000DH程度である。

<車検>

1997年8月以降、製造後5年以上の車両には年1回の車検が義務づけられている。各都市にある車検専門のCentre de Visite Techniqueに車を持ち込むと、その場で実施し、証明書を発行してくれる。費用は車種によるが、80DHから300DH程度である。まれに、微細な外観上の傷を理由に発行しないセンターがあるが、金銭目的によるので注意すること。

20. 地方都市



< Agadir (アガディール) >

ラバトから600km南にある都市で、人口約57万人(2010年)。観光都市として栄えている港町である。

車では、首都ラバトからカサブランカ、その後マラケシュを経由してアガディールまで高速道路が開通している(一部日本の援助)。または海岸沿いのエルジャディーダ、サフィなどの小都市を経由して行くことも出来るが時間を要する。飛行機では、カサブランカ・モハメッド5世空港からアガディール空港まで、国内線が毎日(1日に5本)出ている。高速道路で6時間、飛行機で1時間かかる。また、マラケシュまで鉄道で行き(急行で4時間)、その後バスかタクシーで行くこともできる。ラバトから都市間バスも出ている。

ヨーロッパからの観光客が多いため、住民が外国人を見慣れており、日常生活上の問題は少ない。ただし、物価がほかの都市に比べて高いことがネックである。生活必需品はほとんど入手できる。

ホテル、レストラン、スナックなどが、モロッコでは最も整備されている。ホテルが林立する海岸沿いや中心街では、モロッコ料理店のほか、外国料理のレストランが多数ある。ただし、日本料理のレストランはない。

気候は穏和で冬でもヨーロッパの海水浴客が海岸に見られる。

医療面では、日本人が利用できるクリニックがいくつかある。

< Casablanca (カサブランカ) >

ラバトから南に約100km。高速道路で1時間30分、電車で1時間半程度かかる。近代的な都市で、モロッコの経済首都である。人口約330万人(2010年)。

主要な航空会社、銀行、保険会社、燐鉱石公社などの本社がある。都心はビル街で、特に観光的なものはない。レストラン、ホテル、ディスコ、バーなども多数あり、海岸もよく整備されている。

住宅物件は豊富だが家賃は高い。

アメリカンスクールがある。授業料、入学金などは、ラバトより約1割高である。フレンチスクールもあり、諸経費などはラバトと同様である。

医療面ではほかの都市より恵まれており、国立病院、市立クリニックなど多数あり、ラバト以上に安心できる。

Part 3 イエローページ

*特に記載のない限り、事務所周辺の情報が中心になっています。

1. JICA 事務所 (モロッコ事務所)

名称	JICA Morocco Office
所在地	9, Impasse Al Melia, Lotissement Falah, Lot 9, Agdal Riad, Rabat, Morocco 10100
TEL/FAX	TEL: +212(モロッコの国番号)-537-276595 ~ 99 FAX: +212-537-779592
URL/E-mail	URL: http://www.jica.go.jp/morocco/index.html E-mail: mo_oso_rep@jica.go.jp

2. 在モロッコ日本大使館

所在地	39, Ave. Ahmed Balafrej, Souissi, Rabat, Morocco
TEL/FAX	TEL: 0537-631782 ~ 84 FAX: 0537-750078

3. 緊急連絡先電話番号

日本大使館	TEL: 0537-631785
警察	TEL: 19
消防	TEL: 15
救急車	TEL: 15

4. ホテル

■ La Tour Hassan (ラ・ツールハッサン・ホテル) 5

26, Rue Cheffah BP 14
TEL: 0537-239000 FAX: 0537-725408
http://www.palaces-traditions.com/
E-mail: th.reservation@palaces-traditions.ma
料金: 室 3,339.6
American Express, Master Card, VISA, Dinars

■ Le Diwan Rabat ex. Sofitel (ディワン・ラバト・ホテル) 4

Place de l'Unite Africaine
TEL: 0537-262727 FAX: 0537-262424
http://www.accorhotels.com/qb/hotel-2820-le-diwan-rabat-ex-sofitel/index.shtml
E-mail: H2820@accor.com
料金: 室 2,219.80
American Express, Master Card, VISA

■ Oumlil (ウムリル・ホテル) 4

31, Av. Aqba, Agdal
TEL: 0537-683451 FAX: 0537-686557
料金: シングル 950, ダブル 1300
American Express, Master Card, VISA

■ Mercure Rabat Sheherazade Hotel (メルキュール・ラバト・ホテル) 4

21, Rue de Tunis, Hassan
TEL: 0537-722226/28 FAX: 0537-724527
http://www.mercure.com/qb/home/index.shtml
H2962@accor.com
料金: シングル 930, ダブル 1120
American Express, Master Card, VISA, Dinars

■ Le Pietri Urban Hotel (ル・ピエトリ・アーバン・ホテル) 3

4, Rue Tobrouk
TEL: 0537-707820 FAX: 0537-708235
http://www.lepietri.com
料金: シングル 620, ダブル 680 (朝食込み)
American Express, Master Card, VISA, Dinars

■ Ourida (ウリダ・ホテル) 3

14, Rue El achari, Agadal
TEL: 0537-777740 FAX: 0537-779444
料金: シングル 435, ダブル 594
American Express, Master Card, VISA

■ Ibis Moussafir Rabat Hotel (イビス・ムサフィール・ホテル) 3

32-34, Rue Abderrahmane El Ghafiki Place de la Gare
TEL: 0537-774926 FAX: 0537-7774903
http://www.ibishotel.com/qb/home/index.shtml
料金: シングル 563.2, ダブル 626.40

American Express, Master Card, VISA, Dinars

5.不動産会社

■Cabinet Akkor

37, rue Jabal Tazaka, n°4, Agdal
 TEL :0537-771090 FAX:0537-769827

■Cabinet Immobilier Raïssi

12, rue Maati Bakhay (ex. Al Jabli)
 TEL :0537-708124/42 FAX:0537-708113

6.レストラン

■Matsuri(まつり)

155 av. J. Kennedy, routes des Zaërs, Souissi
 TEL :0537-757572
 回転寿司。高級レストランに属し、料金は高い。要予約。

■Marsa

Nouvelle Marine de Bourearea
 TEL :0537-882155
 高級日本料理店。

■Kiotori(キオトリ)

Mega Mall 内。 routes des Zaërs, Souissi
 TEL :0537-636497
 日本料理。ショッピングモールのフードコートの一隅にある。焼き鳥、寿司、鉄板焼などあり、料金も手ごろ。お酒不可。

■YOKA Sushi

1, Avenue Al Abtal, Agdal, TEL :0537-636497
 Avenue Al Maouz TEL :0537-717177
 日本料理。寿司、焼き鳥など。お酒不可。

■Petit Beur Dar Tajine(ダール・タジン)

8, Rue Damas, Centre Ville
 TEL :0537-431322
 モロッコ料理。新市街の Balima ホテルの裏側。手ごろな料金。日曜閉店。

■Ouazzani(ワZZニ)

Place Ibn Yassine, Agdal
 TEL :0537-777297
 モロッコ料理。プロシエッ、ハリラスープなど地元の人々から人気のあるレストラン。お酒不可。

■As'lam(アシアム)

32, av. Al Arrar, Hay Riad,
 TEL :0537-565630
 アジア料理。フォーやファッタイなども食べられる。料金も手ごろ。

■Site Tiananmen(天安門)

12, Rue Bruxelles (Rue en face de l'ancienne eglise espagnole)
 TEL :0537-205040
 中国料理。場所が少々辺鄙なラバトの下町にあるが、安価でおいしい。お酒不可。

■Villa Mandarine(ヴィラ・マンダリン)

19, Rue Ouled Boussabah, Souissi
 TEL :0537-752077, FAX :0537-632309
 本格的なフランス料理。ホテル Villa Mandarine 内にある。料金は高め。手ごろなランチセットメニューもあり、緑いっぱいの庭に面するテラスでの食事がおすすめ。要予約。

■Picolo's(ピコロ)

149, Av. JF Kennedy, Av. itation
 TEL :0537-636969, Fax :0537-638686
 フランス、イタリア料理。料理に定評がある。テラスでの食事が気持ちよい。料金は、お酒を含めひとり300DHと高め。

■Veranda(ベランダ)

Institut Francais, Rue Ghafsa
 TEL :0674-841244, Fax :0537-700090
 フランス料理(カジュアル)。フランス文化センター内にある安価なフレンチ。質、料金ともお勧め。

■Episerie Ty Potes(ティポト)

11, Rue Ghafsa, Hassan
 TEL :0537-707965

フランス料理。フランス文化センターの裏手にある、本格的なフレンチではなく、気軽なピストロ。おしゃれな雰囲気。

■Finzi(フィンジ)

Angle Av. Mohammed VI. Rue Ahmed Rifai. Complexe Pristige Souissi

TEL :0537-758161

イタリア料理。内装、料理ともお勤め。料金は少々高め。

■La Mamma (ラ・マンマ)

6. Zankat Tanta (新市街ホテル Balima の裏手)

TEL :0537-707329

イタリア料理。地元の人々にぎわう昔からのレストラン。大人数の場合は、予約が必要。

■Latium(ラティウム)

Av. Anakhil. Hav Riad

TEL :0537-717716 / 570146

イタリア料理。新しいおしゃれなレストランで、味もよく料金も手ごろ。

■Paul(ポール)

82. Av. des Nations Unies Aqdal

TEL :0537-672000

軽食およびフランス料理。パンを中心としたフランスの軽食チェーン店。1階がカフェ・軽食。2階はレストラン。魚や肉料理などメニューもある。支店がスーパーLabel'vie Souissi のフードコート内にある。

■Tapeo

Hav Riad

0537-565777

スペイン料理

■Bombav

Rue El Hatmi

0618-182008

インド料理

■Label'vie Souissi(ラベルビー・スイシー)2階フードコート

Routes des Zaërs. Soussi

スーパーマーケットの2階にファーストフードのフードコート。モロッコ、中近東、アジア、メキシコ料理およびサンドイッチ、フライドチキン、ピザ等がある。フランスのチェーン「Paul」も入っている。

■Mega Mall(メガモール)地下1階フードコート

Routes des Zaërs. Soussi

ショッピングモール内にあるフードコート。ピザ、フライドポテト、イタリアン、中近東、モロッコ、アジア料理、ケーキやアイスクリームのデザート類もある。フランスのケーキ店「Le Notre」や日本料理「キオトリ」も入っている。ただしアルコールは不可。

7.食料品の入手

<市場>

■Marchè central (中央市場)

メディナ

営業時間(だいたい金曜日を除く毎日 09:00 ~ 13:00、16:00 ~ 20:00)金曜休み

魚市場、野菜市場、食料雑貨店があり、アジア食品を売る商店もある。魚市場に限り、午前中のみ。金曜、月曜休み。

■Marchè Aqdal (アグダル市場)

Rue Oued Baht & Rue Oued Oum Erbin (大きなアパートコンプレックス Kys のそば)

営業時間(だいたい金曜日を除く毎日 09:00 ~ 13:00)

魚、野菜の市場。市場の周りには、食料雑貨店が何件もあり、豚肉を扱う肉屋もある。

■Marchè Akkari(アッカリ市場)

Av. Hassan II & Rue Regraoui. Akkari

営業時間: 金曜を除く午前中。

露天市場で、道沿いに新鮮な野菜、果物が売られており、比較的清潔で、地元の人々はもちろん、外国人も利用する。つり銭を間違えられることがよくあるので、料金を必ず一点一点確認する。

<スーパーマーケット>

■Mariane Hav Ryad (マルジャン・ハイリアッド店)

Autoroute Rabat / Tanger Hav Riad

営業時間: 09:00 ~ 22:00

TEL:0537-717734

大型スーパーマーケット。ラバトのスーパーでは一番大きく、食料品、日用品、電化製品、衣料を扱う。併設されている家具屋は、手頃な値段で品揃えも豊富。その他、電気量販店、マクドナルド、おもちゃ屋などもそろっている。ラバトには、もう一軒 Marjane Bouregreg 店がサレ市に渡る橋のそばにある。

■Label'vie Zaërs (ラベル・ヴィ・ザエール)

Routes des Zaërs, 3.5km Souissi

営業時間: 09:00 ~ 21:00

TEL: 0537-636370

中規模のスーパーマーケットでラバトに5軒あるラベル・ヴィの中で一番品揃えも豊富。食品、日用品。他に、Hay Riad, Agdal, Hassan 地区などにある。

■Acima City Center (アシマ・シティ・センター)

City Center Rue Maziyata Hay Riad

営業時間: 09:00 ~ 21:00

TEL: 0537-710745

小・中規模のスーパーマーケット。食料、日用品。値段もスーパーの中では比較的安い。

■Aswak Assalam (アスワク・サラム)

Av. Mehdi Ben Barka, sec.11, lotissement X, Hay Riad

営業時間: 07:00 ~ 22:30

TEL: 0537-714574

中規模のスーパー。食料、日用品、電気製品。酒類は、販売していない。

<肉屋>

■AU PORCELET GOURMAND

13, Place Raber El Adaouia, Agdal

TEL: 0537-681353

豚肉の入手化。

8. デパート、ショッピングセンター

■Mega Mall (メガモール)

Routes des Zaërs, Souissi

営業時間: 10:30 ~ 21:00

TEL: 0537-757575

ショッピングモール。アイススケートリンクやボウリング場もある

9. 家具

■KITEA (キテア)

○Mariane Hav RIAD 店: Centre commerciale Mariane, Hay Rida TEL: 0537-717704

○Rue du 16 Novembre 店: Rue du 16 Novembre, Agdal TEL: 0537-074841

○Rabat Centre Ville 店: 3, Av. Amir Moulay Abdellah Centre Ville TEL: 0537-202580

種類も多く、手ごろな価格の家具。

10. 工具、素材

■Bricoma Rabat (ブリコマ・ラバト)

Av. Hassan II, Lot 6 zone d'activité rvad Vita.

TEL: 0537-239900

工具・素材等を扱うスーパーマーケット

11. 医療機関

■Hopital Cheikh Zaid (シェイク・ザイド病院)

Ave. Allal El Fassi, Madinat Al Ifrane, Hay Riad.

TEL: 0537-686868 FAX: 0537-683848

救急受付 24 時間

一般外来: 月曜 ~ 土曜 08:00 ~ 18:00

モロッコ最大規模の私立総合病院。CT/MRI 他高度医療機材完備。全診療科専門医が診療。重症事例の場合の利用向。

■Clinique Souissi (クリニック・スイシー)

8, rue Cadi Abdellah Kabaai, Souissi

TEL : 0537-653040 FAX : 0537-862218

救急受付 24 時間

一般外来 : 月曜 ~ 金曜日 (08 :00 ~ 18 :00) 土曜日 (08 :00 ~ 12 :00)

中規模の私立総合病院。全診療科に対応可。専門医による診療。高度な検査は院外となる。

■Clinique des Nations Unies (クリニック・ナシオンジュニ)

Angle av. Nations des Unie et rue Ibn Hanbal, Aqdal

TEL : 0537-670505 FAX: 0537-673535

救急受付 24 時間

中規模の総合病院。心臓外科を除き全診療科に対応可。専門医による診療。高度な検査は院外となる。

■Dr. SEKKAT Mohamed (歯科)

Residence Idrissia 66, av. Fal Ould Oumier, Aqdal

TEL : 0537-772425

月曜 ~ 金曜日 : 09 :00 ~ 15 :30, 土曜日 : 09 :00 ~ 13 :00

■Dr. MAMRI Nawal (歯科)

Redidence le Minaret Apt.22, Angle rue anman et rue Yougoslavie

TEL : 0537-200778

月曜日 : 15 :00 ~ 18 :30, 火曜 ~ 金曜日 : 10 :00 ~ 15 :00, 土曜日 : 10 :00 ~ 12 :30

■Clinique Dentaire Souissi (歯科)

5, lotissement Mouline II, Souissi

TEL : 0537-757474

月曜 ~ 金曜日 : 09 :00 ~ 12 :00, 15 :00 ~ 18 :00 小児歯科もある。

12. 民間救急車派遣会社

■Rabat Secours Medical

27, Angle Av.e. Bine el Ouidane Roumi n°4 Aqdal

TEL : 0537-777333 FAX : 0537-775733

■SAMU

13. 薬局

Pharmacie Hyper

Centre Commercial Label'vie Zaërs, Routes des Zaërs, Souissi

TEL : 0537-755555

14. 金融機関

■SGMB (Rabat Souissi 支店)

Av. Iman Malek Km 3.5 Routes des Zares, Souissi

TEL : 0537-237410

URL : <http://www.sgmaroc.com>

■BMCI (Rabat succursale 支店)

Rue Tadili, Rotues des Zaërs, Souissi

TEL : 0537-658 974

URL : <http://www.bmcinet.net>

■Attijariwafa Bank (Rabat route Zaërs 支店)

163, Av. J.F. Kennedy, Souissi

TEL : 0537-753715

URL : <http://www.attijariwafabank.com>

■BMCE Bank (Centre Rabat 支店)

260, Av. Mohammed V, Place la Mamounia, Centre ville

TEL : 0537-216100

URL : <http://www.bmcebank.ma>

15. レンタカー会社

■Europcar (ヨーロッパカー)

25 Bis Rue Patrice Lumumba

TEL : 0537-722328

URL : <http://www.europcar.co.uk/>

■Hertz (ハーツ)

467, Av. Mohammed V, Centre Ville

TEL : 0537-707366

URL : <http://www.hertz.com>

16. 国際宅配サービス

■DHL

40, Av. de France, Agdal,
 TEL: 0537-779934
 URL: <http://www.dhl.com>
 営業時間: (月曜～金曜)08:30～18:30、(土曜)08:30～12:00

17. コンピューターの販売・修理

■Microland

27, Av. Fal ould Oumeir, Agdal
 TEL: 0537-680955
 HP の PC を中心に販売。(土曜午後、日曜休業)

■ECS Informatique

12, Av. Michlefen, appt.7 Agdal
 TEL: 0537-671262
 PC 修理、販売。(土曜午後、日曜休業)

18. 教育機関

■Rabat American School

所在地: 1Bis Rue Emir Ibn Abdelkader, Agdal 郵便アドレス: BP 120 c/o amrican Embassy, Agdal
 TEL: 0537-671476
 URL: <http://www.ras.edu.ac.ma/>

■フレンチスクール

問い合わせ先: ambassade de France, Service de Coopération et d'action culturelle
 URL: <http://www.ambafrance-ma.org/efmaroc/lycee/liens.php>
 入学に関しては、フランス大使館 協力・文化館がすべてのフレンチスクールを取りまとめて代行する。

19. 図書館

■Bibliothèque Nationale du Royaume du Maroc (国立図書館)

Av. Ibn Khaldoun, Agdal
 TEL: 0537 771890
 開館時間: (月曜～金曜)09:00～18:30、(土曜)09:00～13:00 (日曜)閉館

20. 新聞の購読

< 日本の新聞 >

■OCS 海外新聞普及(株)輸出購読サービス

〒108-8701 東京都港区芝浦 2-9-13
 TEL: 03-5476-8131 FAX: 03-3453-8091
 URL: <http://www.ocs.co.jp/>

■OCS Europe Limited(ロンドン OCS)

1 Galleywall Road, Bermondsey, London SE16 3PB
 TEL: +44-20-7252-1122 FAX: +44-20-7740-0164
 URL: <http://www.ocs.co.jp>

< 外国の新聞 >

■Sochepress

9, Av. e. Al Fadila, zone Industrielle, CYM,
 TEL: 0537-291549 FAX: 0537-291541

21. ケーブル TV 会社

■Japan Satellite TV(Europe) Ltd. (JSTV)

65 Clifton Street, London EC2A 4JE United Kingdom
 TEL: +44-20-7426-7330 FAX: +44-20-7426-7339
 日本語衛星放送局。

22. スポーツ施設

■Club Wifaq (クラブ ウィファック)

Lot Ambassadeur, Km 6.8 Routes des Zaërs
 TEL: 0537-754539 FAX: 0537-754290
 会員制クラブだがビジタープレー可能。テニス、ジム、フィットネス、野外プール。

■Moving (ムーヴィング)

33 Av. Mehdi Benbarka Souissi,
 TEL: 0537-652960/70 FAX: 0537-652962

会員制クラブ、室内プール、フィットネス、ジム、スカッシュ、ダンス、アクアジム。

■Royal Golf Dar Es-Salam (ロイヤル ゴルフ ダール・エッサラム)

Km 8. Av. Imam Malik

TEL: 0537-755864/65 FAX: 0537-757671

www.royalgolddaressalam.com

レッド(18ホール)、ブルー(18ホール)、グリーン(9ホール)

グリーンフィー:ピジター500DH/18ホール

23. 語学学校

■Institute For Language And Communication Studies (ILCS)

29, Rue Oukaimden, Agdal

TEL: 0537-675968 /0537-675965 FAX : 0537-675965

モロッコ方言アラビア語、ベルベル語、フランス語、スペイン語

■Institut Français de Rabat

54, Angle Rue Zharhoni et Rue Abou Inane, B.P. 1459

TEL: 0537-689650 FAX : 0537-706143

フランス語

24. 旅行代理店

■Cap Tours

7, Rue Damas

TEL: 0537-733571 FAX: 0537-733571

航空券

■Majestic Tours of Morocco

46, Av.. Fal Oued Oumeir, Agdal

TEL: 0537-675724 FAX: 0537-775321

航空券

25. 輸送会社

■AGS Mulot Déménagement TEL: 0537-602042 FAX: 0537-601938

■Action Déménagement TEL: 0537-778324 FAX: 0537-778328

26. 保険会社

■Corrasur sarl

79, Av.. Allal Ben Abdellah (Passage Karrakchou)

TEL: 0537-708331/38 FAX: 0537-702447

Axxa 保険の代理店。
